

COBIT 5 プロダクトファミリー日本語版の 訳語統一化について

2017年7月18日
ISACA東京支部 基準委員会

COBIT 5プロダクトファミリー日本語版 訳語統一化について

COBIT 5プロダクトファミリー日本語版訳語統一化プロジェクトを終えて

COBIT 5プロダクトファミリーの日本語化については、ITGI, JapanおよびISACA東京支部基準委員会が中心となり分担して取り組んでまいりました。その結果、COBIT 5フレームワークを始め、COBIT 5 Enabling Processes、COBIT 5 Enabling Informationの各イネーブラーガイド、COBIT 5 ImplementationやProcess Assessment Model using COBIT 5、COBIT 5 for Assurance、COBIT 5 for Risk等のプロフェッショナルガイドなど、多くの日本語版文書をリリースしCOBIT 5活用を整備してまいりました。

このたび、日本語によりCOBIT 5文書を参照される方々に理解しやすく混乱を招かないように、キーとなる用語の訳語を統一化することにいたしました。

皆様が、引き続き日本語版のCOBIT 5関連文書を活用し、ステークホルダーへの価値を創出するためのITガバナンスを実践されることを、ご支援していきたいと思っております。

ISACA 東京支部

2016-2017年 基準委員会 委員長 神橋 基博
基準委員会 委員 稲葉 裕一

COBIT 5プロダクトファミリー日本語版訳語統一化に寄せて

経営におけるITの重要性が高まる中、COBIT 5はITガバナンスからITマネジメント、そしてコントロールに関する包括的知識体系として、日本のビジネス・コミュニティにおいて重要な役割を担うものと期待されます。

COBIT 5の普及のため、ISACA東京支部ではITGI Japanと協力してCOBIT 5プロダクトファミリーの日本語化を推進してまいりました。

今回の訳語統一化は単なる正誤表ではなく、COBIT 5の中核概念を正しく伝えることを目的としており、基準委員会における研究活動の成果です。ボランティアとして検討に参加いただいたプロジェクトメンバーに深く感謝いたします。

今回の取り組みが、「いかにしてITを用いて事業体の価値を創出するか？」という問い掛けに対する皆様の議論を深め、より良いITガバナンス/ITマネジメント/ITコントロールの実現に活用されることを望んでやみません。

ISACA 東京支部

2017-2018年 会長・理事 田中 秀幸

訳語統一化プロジェクトチーム

COBIT 5プロダクトファミリー日本語版 訳語統一化プロジェクト

プロジェクトリーダー

神橋 基博 (三井住友フィナンシャルグループ CISA)

プロジェクトマネージャー

稲葉 裕一 (有限責任監査法人トーマツ、CISA、システム監査技術者、技術士(情報工学部門))

総合レビューアー

梶本 政利 (ITGI, Japan CISA, CRISC)

エキスパートレビューアー

・COBIT 5フレームワーク)

小宮 隆 (CISA、CIA、中小企業診断士)

・COBIT 5 Enabling Processes)

成田 和弘 (三菱UFJ信託銀行 CISA, CIA, システム監査技術者)

・COBIT 5 for Assurance、COBIT 5 for Risk)

神橋 基博 (三井住友フィナンシャルグループ CISA)

Errata作成

稲葉 裕一 (有限責任監査法人トーマツ、CISA、システム監査技術者、技術士(情報工学部門))

目次

| | |
|--|----|
| COBIT 5プロダクトファミリー日本語版訳語統一について | 5 |
| Ensure:「保証する」「確認する」等の混在→「確保する」「確実にする」に統一 | 6 |
| Change:「変更」と「変革」の訳し分け | 7 |
| プロセスアセスメントモデルとGEIT導入モデルの訳語統一 | 8 |
| COBIT 5 プロセス参照モデル | 9 |
| COBIT 5 プロセスアセスメントモデル | 10 |
| COBIT 5 GEIT導入モデル | 11 |
| COBIT 5プロダクトファミリー日本語版 Errata(正誤表) | 12 |

COBIT 5プロダクトファミリー日本語版訳語統一について

文書により日本語訳が異なっているCOBIT 5のキーワードについて、COBIT 5 プロダクトファミリー日本語版内で訳語を統一化します

1. プロセス参照モデル

① Ensure⇒「確保する」(プロセス名の時「確保」)

“Ensure”の訳語について「保証する」「確認する」等が混在していますが、“自ら実現する”という語意を正確に表現するため「確保する」もしくは「確実にする」に統一します

② Change⇒文脈により「変革」を使用

“Change”の訳語について、社会、政治、制度、組織、事業等を「根本から変える」「イノベーションを目的とする」文脈のなかで使われている場合「変革」と訳してより自然な日本語とします

2. プロセスアセスメントモデル(プロセス属性名称)

- PA1.1 Process Performance⇒プロセス実施
- PA4.1 Process Measurement⇒プロセス測定
- PA4.2 Process Control⇒プロセス制御
- PA5.1 Process Innovation⇒プロセス革新

3. GEIT導入モデル

① ライフサイクルコンポーネント名

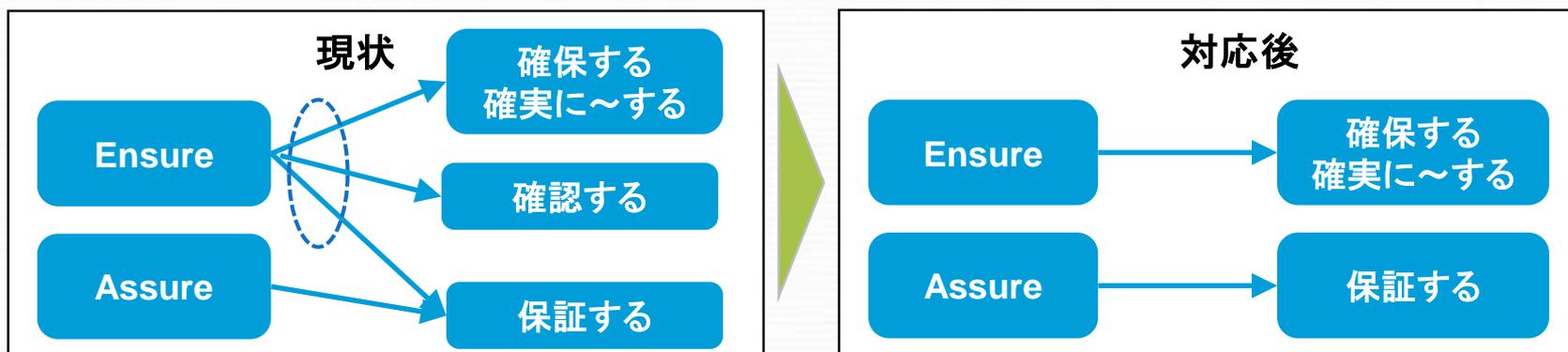
- Program Management⇒プログラム管理
- Change Enablement⇒変革の実現

② フェーズ名

- Communicate Outcome⇒成果のコミュニケーション
- Sustain⇒持続
- Monitor and Evaluate⇒モニタリングと評価

Ensure:「保証」と「確保」の混在→「確保」に統一

取締役会等が行う監督機能としてのEnsureは第三者的な「保証」ではなく、主体性を伴う語感の「確保」あるいは「確実に～する」とします

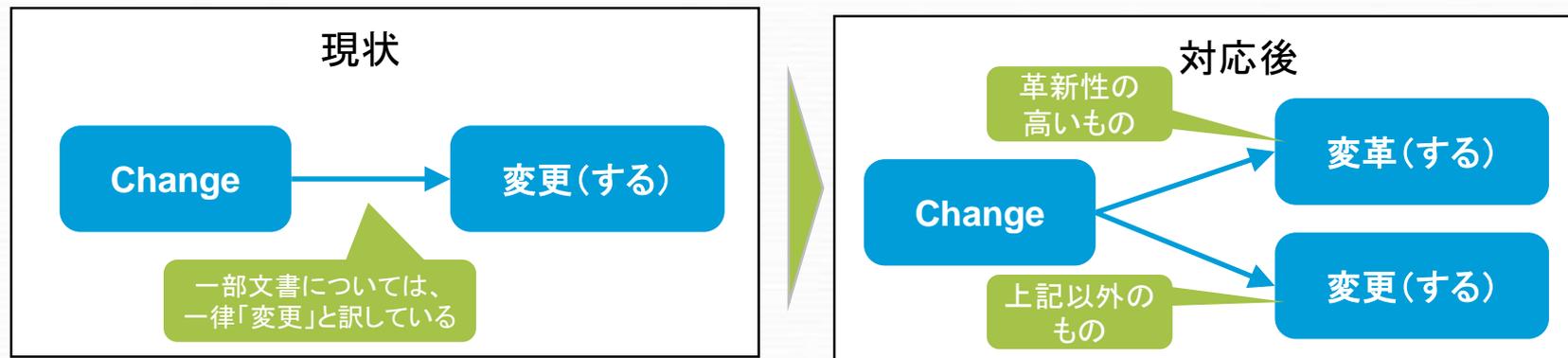


- 取締役会等が行う監督(ガバナンス)機能としての”Ensure”は第三者的立場からの「保証する」ではなく、主体性を伴う「確保する」「確実にする」とします。
- EnsureはEDMプロセスの名称に登場します。この場合は取締役などのガバナンス層が執行役員以下のマネジメント層を監督して主体性をもって「確実に実現する」意味となります。そのため、Ensureについては「確保する」あるいは文脈によっては「確実に～する」とします。
- 一方、AssureはMEAプロセスの中で動詞として登場します。こちらは、内部監査部門などが第三者の立場から実現されることの確からしさを第三者の立場から「保証する」意味になります。従って、Assureに対しては「保証する」の訳語を当てます。(現状通り)
- この統一化については以下のようなEDMドメインのプロセス名が典型的ですが、本文中にも多く現れており今回見直ししています。

| プロセス | 原語 | 変更前 | 変更後 |
|-------|--|-------------------------------|-------------------------------|
| EDM01 | Ensure governance framework setting and maintenance. | ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| EDM02 | Ensure benefits delivery. | 効果提供の 保証 | 効果提供の 確保 |
| EDM03 | Ensure risk optimisation. | リスク最適化の 保証 | リスク最適化の 確保 |
| EDM04 | Ensure resource optimisation. | 資源最適化の 保証 | 資源最適化の 確保 |
| EDM05 | Ensure stakeholder transparency. | ステークホルダーからみた透明性の 保証 | ステークホルダーからみた透明性の 確保 |

Change:「変更」と「変革」の訳し分け

革新性があるChangeについては、「変更」ではなく「変革」の訳語を使います



- 革新性のあるChangeは「変更」ではなく「変革」とした方が語感に合います。
 (「変革」が妥当な語の組み合わせ)
 business change; 事業変革
 change enablement; 変革可能性
 change enable; 変革の機会を与える
- Enabling change、Change enablementのように、enableとセットの文脈で使われるケースでは、Changeを「変更」と訳すとその革新性や規模感、価値創出のニュアンス失われるため、この語感にあった「変革」を採用することとします。
- 上記以外のChangeについては、「変更」のままとします。

| プロセス | 原語 | 変更前 | 変更後 |
|-------|--|----------------------|----------------------|
| BAI05 | Manage Organisational Change Enablement | 組織の 変更 実現性の管理 | 組織の 変革 実現性の管理 |
| BAI06 | Manage Changes | 変更 管理 | －(変更なし) |
| BAI07 | Manage Change Acceptance and Transitioning | 変更 受入と移行の管理 | －(変更なし) |

プロセスアセスメントモデルおよびGEIT導入モデルの訳語統一

プロセスアセスメントモデル、GEIT導入モデルの項目名称において、当初の原文誤り修正への対応や用語の統一化を行いました

プロセスアセスメントモデルの訳語統一

| 分類 | 原語 | 訳語統一化 |
|-------|---------------------|---|
| PA1.1 | Process Performance | 「パフォーマンス」「実施」混在 ⇒「実施」に統一 |
| PA4.1 | Process Measurement | 「測定」「管理」混在 ⇒「測定」に統一 (「管理」は当初の原文誤りに由来) |
| PA4.2 | Process Control | 「制御」「コントロール」混在 ⇒「制御」に統一 |
| PA5.1 | Process Innovation | 「革新」「イノベーション」混在 ⇒「革新」に統一 |

GEIT導入モデルの訳語統一

| 分類 | 原語 | 訳語統一化 |
|-----------------|----------------------|--|
| ライフサイクルコンポーネント名 | Program Management | 「プログラム管理」「プログラムマネジメント」混在 ⇒「プログラム管理」に統一 |
| | Change Enablement | 「変革の実現」「変更の実現」混在 ⇒「変革の実現」に統一 |
| フェーズ名 | Communicate Outcome | 「成果の明確化」「成果のコミュニケーション」混在 ⇒「成果のコミュニケーション」に統一 |
| | Sustain | 「持続」「維持」混在 ⇒「維持」に統一 |
| | Monitor and Evaluate | 「モニタリング」「監視」混在 ⇒「モニタリング」に統一 |

COBIT 5 プロセス参照モデル

COBIT 5プロセス参照モデルにおけるプロセス名について、日本語訳語が統一されます

事業体のITガバナンスのためのプロセス

評価、方向付け、モニタリング

EDM01
ガバナンスフレームワークの設定と維持の**確保**

EDM02
効果提供の**確保**

EDM03
リスク最適化の**確保**

EDM04
資源最適化の**確保**

EDM05
ステークホルダーからみた透明性の**確保**

整合、計画、組織化

APO01
ITマネジメントフレームワークの管理

APO02
戦略管理

APO03
エンタープライズアーキテクチャ管理

APO04
イノベーション管理

APO05
ポートフォリオ管理

APO06
予算とコストの管理

APO07
人的資源の管理

APO08
関係管理

APO09
サービス契約の管理

APO10
サプライヤーの管理

APO11
品質管理

APO12
リスク管理

APO13
セキュリティ管理

モニタリング、評価、アセスメント

MEA01
成果と整合性のモニタリング、評価アセスメント

MEA02
内部統制システムのモニタリング、評価、アセスメント

MEA03
外部要件への準拠性のモニタリング、評価、アセスメント

構築、調達、導入

BAI01
プログラムとプロジェクトの管理

BAI02
要件定義の管理

BAI03
ソリューションの特定と構築の管理

BAI04
可用性とキャパシティの管理

BAI05
組織の**変革**実現の管理

BAI06
変更管理

BAI07
変更受入と移行の管理

BAI08
知識管理

BAI09
資産管理

BAI10
構成管理

提供、サービス、サポート

DSS01
オペレーション管理

DSS02
サービス要求とインシデントの管理

DSS03
問題管理

DSS04
継続性管理

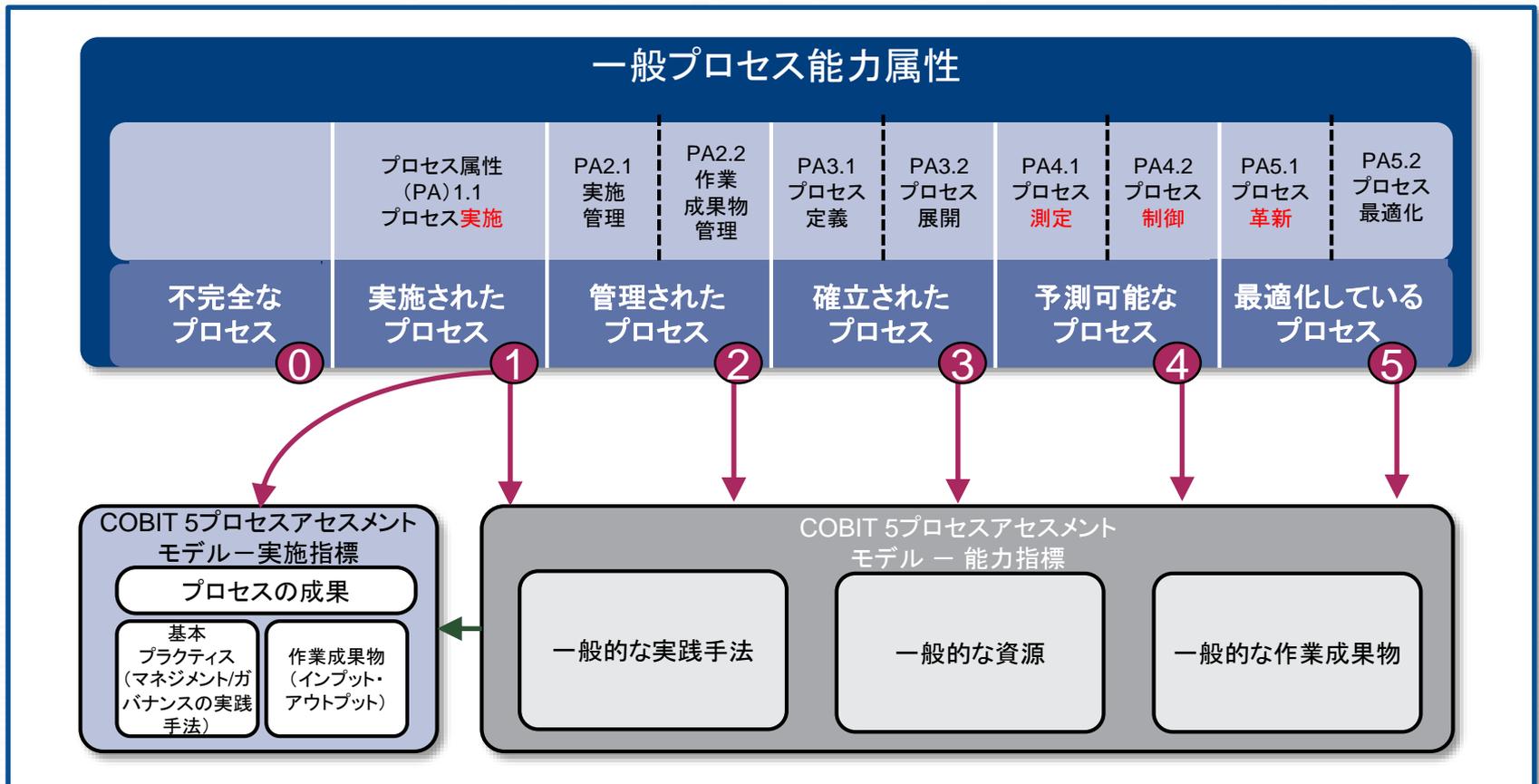
DSS05
セキュリティサービスの管理

DSS06
ビジネスプロセスのコントロールの管理

事業体のITマネジメントのためのプロセス

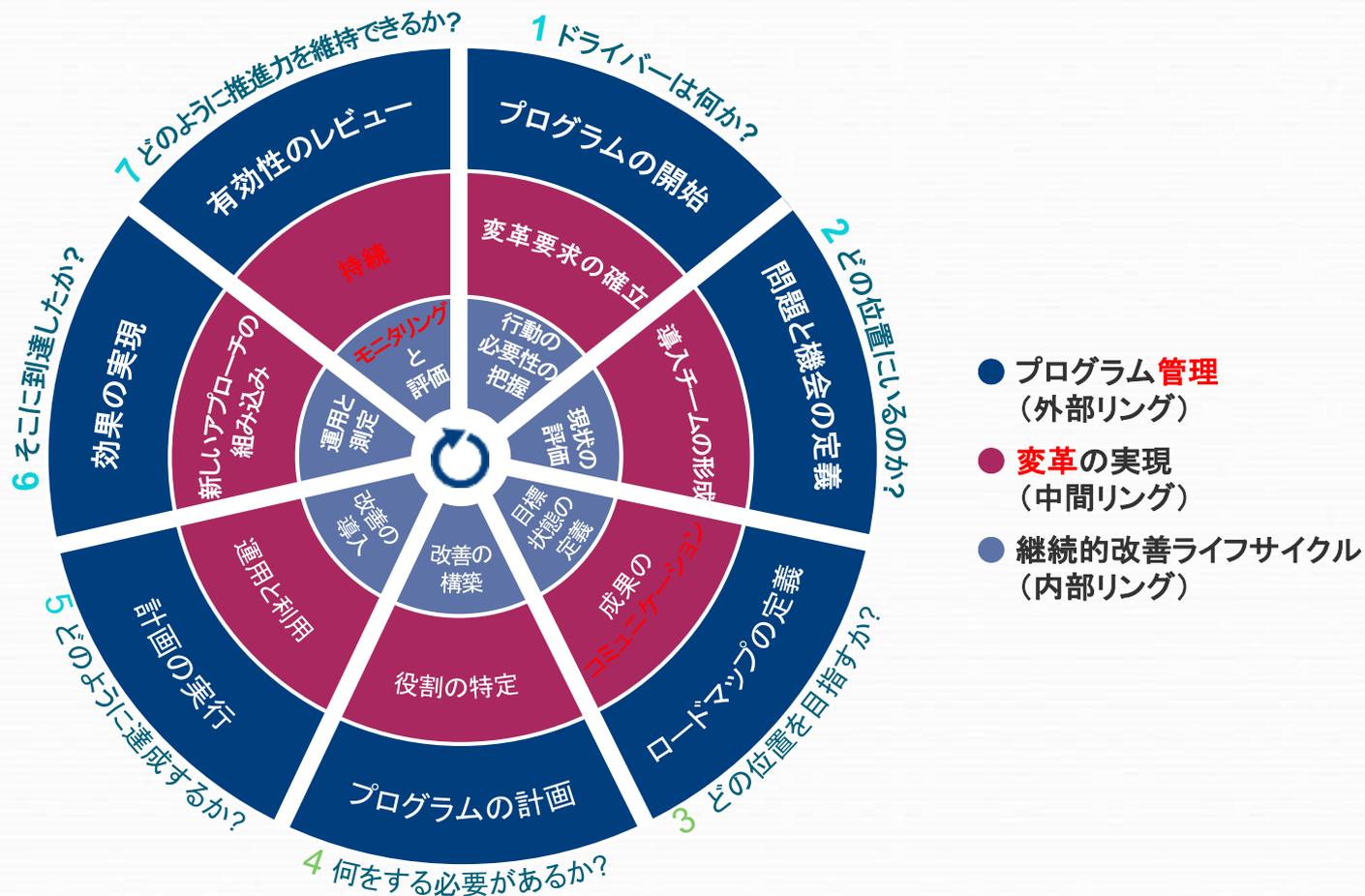
COBIT 5 プロセスアセスメントモデル

COBIT 5プロセスアセスメントモデルにおけるプロセス属性名について、日本語訳語が統一されます



COBIT 5プロダクトファミリー日本語版訳語統一について

COBIT 5のGEIT導入モデルにおけるフェーズ名等について、日本語訳語が統一されます



COBIT 5プロダクトファミリー日本語版 Errata(正誤表)

今回の訳語統一化に伴い、以下のCOBIT 5プロダクトファミリー文書のErrata(正誤表)を提供いたします

1. COBIT 5 フレームワーク日本語版(別紙1)
2. COBIT 5 Enabling Processes日本語版(別紙2)
3. COBIT 5 for Assurance日本語版(別紙3)
4. COBIT 5 for Risk日本語版(別紙4)

なお、訳語統一化を反映した上記日本語版4文書のリリースについては、その発行可否を含め、ISACA 国際本部と調整中です。当面は、現在提供されている上記日本語版4文書と本Errata(正誤表)を合わせて、ご使用ください。

別紙1. COBIT 5フレームワーク日本語版正誤表

COBIT 5 フレームワーク日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|---------------|--|---|
| 11 | 目次(第7章) | 問題点と契機となったイベントの認識42 | 問題点とトリガーイベントの認識42 |
| 11 | 目次(第7章) | 変更の実現43 | 変革の実現43 |
| 15 | 第1段落1行目 | この文書は、事業体の IT ガバナンスと IT マネジメントのための COBIT5 フレームワークを記述するものである。 | この文書は、事業体の IT ガバナンスと IT マネジメントのための COBIT 5 フレームワークを記述するものである。 |
| 15 | 第3段落1行目 | COBIT5 のプロダクトファミリーを以下に示す。 | COBIT 5 のプロダクトファミリーを以下に示す。 |
| 15 | 第3段落6行目 | – COBIT 5:Enabling Information(刊行予定) | – COBIT 5:Enabling Information |
| 15 | 第3段落10行目 | – COBIT 5 for Information Security(刊行予定) | – COBIT 5 for Information Security |
| 15 | 第3段落11行目 | – COBIT 5 for Assurance(刊行予定) | – COBIT 5 for Assurance |
| 15 | 第3段落12行目 | – COBIT 5 for Risk(刊行予定) | – COBIT 5 for Risk |
| 15 | 第3段落14行目 | ・オンラインコラボレーション環境:COBIT 5 の活用に関するサポートを得られる。 | ・オンラインコラボレーション環境:COBIT 5 の活用に関するサポートが得られる。 |
| 18 | 16行目 | ・原則 3:一つに統合されたフレームワークの適用 – IT 関連の標準やベストプラクティスは数多く存在し、... | ・原則 3:一つに統合されたフレームワークの適用 – IT 関連の標準や優れた実践手法は数多く存在し、... |
| 18 | ページ下部第1囲み内1行目 | ガバナンスとは、ステイクホルダーのニーズや、... | ガバナンスとは、ステークホルダーのニーズや、... |
| 18 | ページ下部第1囲み内2行目 | ...合意した方向性と目標に沿ってパフォーマンスや準拠性を... | ...合意した方向性と目標に沿って成果や準拠性を... |
| 18 | ページ下部第1囲み内3行目 | ...合意の上で決定され、達成されることを保証するものである。 | ...合意の上で決定され、達成されることを確保することである。 |
| 18 | ページ下部第2囲み内2行目 | ...アクティビティを計画、構築、実行し、評価することである。 | ...アクティビティを計画、構築、実行し、モニターすることである。 |
| 21 | 第一段落中黒4点目4行目 | ...は増加している。ビジネス部門の中でも、より多くの人々が IT スキルを有し、... | ...は増加している。事業部門の中でも、より多くの人々が IT スキルを有し、... |
| 21 | 下から2行目 | COBIT 5 の一連のプロダクトアーキテクチャーを、常に最新の状況を反映した文書とするだろう。 | COBIT 5 の一連のプロダクトアーキテクチャを、常に最新の状況を反映した文書とするだろう。 |
| 22 | 第一段落1行目 | 本COBIT5フレームワークの、次章以降の7章の構成を示す。 | 本COBIT 5フレームワークの、次章以降の7章の構成を示す。 |
| 22 | 第一段落10行目 | ...をカバーすることによって、COBIT5がどのように事業体の IT ガバナンスを... | ...をカバーすることによって、COBIT 5がどのように事業体の IT ガバナンスを... |
| 22 | 第一段落中黒6点目2行目 | ...導入に関する典型的な問題点と契機となったイベント、... | ...導入に関する典型的な問題点とトリガーイベント、... |
| 23 | 下から2行目 | ステイクホルダーのニーズは、戦略の変更、ビジネスの変革、規制環境、新しい技術など、... | ステイクホルダーのニーズは、戦略の変更、事業環境や規制環境の変化、新しい技術など、... |

COBIT 5 フレームワーク日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------------------|---|--|
| 24 | 図表4 右側上から2つ目の長丸内 | 図5 | 図表5 |
| 24 | 図表4 右側上から4つ目の長丸内 | 図6 | 図表6 |
| 28 | 図表7右列10点目 | ・IT 活用のために十分な人材が揃っているか？ どのようにその人材のスキルを伸ばし、維持し、 パフォーマンス を管理するか？ | ・IT 活用のために十分な人材が揃っているか？ どのようにその人材のスキルを伸ばし、維持し、 成果 を管理するか？ |
| 28 | 図表7右列15点目 | ・事業体を 維持 するために、IT はどれほど重要か？ IT が利用できない場合、どうするか？ | ・事業体を 持続 するために、IT はどれほど重要か？ IT が利用できない場合、どうするか？ |
| 28 | 図表7「内部のステークホルダー」列13点目 | ・ 社内監査役 | ・ 内部監査人 |
| 28 | 図表7「外部のステークホルダー」列8点目 | ・ 社外監査役 | ・ 外部監査人 |
| 29 | 第3段落3行目 | 広範で完全な要件に対応することが 出来る 。それによって、… | 広範で完全な要件に対応することが できる 。それによって、… |
| 30 | 図表9中央上部の長丸 | 方向づけ | 方向付け |
| 33 | 第二段落中黒2点目 | …一連のアウトプットを生み出すための一連の 実務 とアクティビティ… | …一連のアウトプットを生み出すための一連の 実践手法 とアクティビティ… |
| 34 | 上から6行目 | …な性質を考慮することにより、良い 決断 ができる。 | …な性質を考慮することにより、良い 意思決定 ができる。 |
| 34 | 例4一行目 | …複数のポリシーや 手続 を作成し、… | …複数のポリシーや 手続き を作成し、… |
| 37 | ページ上部第1囲み内1行目 | ガバナンスとは、 ステイクホルダー のニーズや、… | ガバナンスとは、 ステークホルダー のニーズや、… |
| 37 | ページ上部第1囲み内2行目 | …合意した方向性と目標に沿って パフォーマンス や コンプライアンス をモニターする… | …合意した方向性と目標に沿って 成果 や 準拠性 をモニターする… |
| 37 | ページ上部第1囲み内3行目 | …合意の上で決定され、達成されることを 保証 するものである。 | …合意の上で決定され、達成されることを 確保 するものである。 |
| 37 | ページ上部第2囲み内2行目 | …アクティビティを計画、構築、実行し、 評価 することである。 | …アクティビティを計画、構築、実行し、 モニター することである。 |
| 38 | 下から段落目の2～3行目 | このモデルは、IT の パフォーマンス の測定や… | このモデルは、IT の 成果 の測定や… |
| 38 | 下から2段落目の4行目 | マネジメントの ベストプラクティス の統合のためのフレームワークを提供する。 | マネジメントの 優れた実践手法 の統合のためのフレームワークを提供する。 |
| 39 | 図表15 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 39 | 図表15 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 39 | 図表15 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |

COBIT 5 フレームワーク日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------|--|--|
| 39 | 図表15 | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 39 | 図表15 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 39 | 図表15 | BAI05 組織の 変更 実現性の管理 | BAI05 組織の 変革 実現性の管理 |
| 41 | 第3段落4行目 | ・典型的な重要な問題点と 契機 となったイベントの認識 | ・典型的な重要な問題点と トリガー イベントの認識 |
| 42 | 6行目 | ・効果的な周知と必要な 変更 の実現の徹底 | ・効果的な周知と必要な 変革 の実現の徹底 |
| 42 | 第2段落2行目 | …不適切な方向付けやサポート、 監視 によって… | …不適切な方向付けやサポート、 監督 によって… |
| 42 | 第2段落4行目 | …改善策が採用され、 維持 されるためには… | …改善策が採用され、 持続 されるためには… |
| 42 | 第5段落1行目 | さらに、 監視 と方向付けのための適切な体制とプロセスを確立し… | さらに、 監督 と方向付けのための適切な体制とプロセスを確立し… |
| 42 | 第6段落1行目 | …すべてのレベルでのコミットメントを 保証 するためには、… | …すべてのレベルでのコミットメントを 確保 するためには、… |
| 42 | 下部サブタイトル | 問題点と 契機 となったイベントの認識 | 問題点と トリガー イベントの認識 |
| 42 | 下から9行目 | 問題点または 契機 となったイベントを導入の取り組みの… | 問題点または トリガー イベントを導入の取り組みの… |
| 42 | 下から5行目 | こうすることで、さらなる 変更 を導入するための… | こうすることで、さらなる 変革 を導入するための… |
| 42 | 下から4行目 | … 変更 を普及させるための経営上層部の… | … 変革 を普及させるための経営上層部の… |
| 43 | 4行目 | ・IT が事業体の革新能力やビジネスの俊敏性の足かせになっている。 | ・IT が事業体の革新能力やビジネスの俊敏性の足かせになっている |
| 43 | 中央部サブタイトル | 変更 の実現 | 変革 の実現 |
| 43 | 第3段落1行目 | 導入が成功するかどうかは、適切な 変更 (適切なガバナンスまたはマネジメントのイネーブラー)を… | 導入が成功するかどうかは、適切な 変革 (適切なガバナンスまたはマネジメントのイネーブラー)を… |
| 43 | 第3段落3行目 | …大きな重点を置くが、 変更 の人的、行動的および文化的な… | …大きな重点を置くが、 変革 の人的、行動的および文化的な… |
| 43 | 第3段落4行目 | …ステークホルダーが 変更 に賛同するように… | …ステークホルダーが 変革 に賛同するように… |
| 43 | 第4段落2行目 | …容易に 変更 を受け入れ、採用すると考えるべきではない。 | …容易に 変革 を受け入れ、採用すると考えるべきではない。 |
| 43 | 第4段落2行目 | 変更 が無視されたり、抵抗を受ける可能性があるため、… | 変革 が無視されたり、抵抗を受ける可能性があるため、… |
| 43 | 第5段落4行目 | …適切に 変更 を採用し、 変更 を採用する意志を持たせ、また、 変更 を採用する能力を確保する… | …適切に 変革 を採用し、 変革 を採用する意志を持たせ、また、 変革 を採用する能力を確保する… |
| 43 | 下から1行目 | 2. 変更 の実現 — 行動および文化の側面への対応 | 2. 変革 の実現 — 行動および文化の側面への対応 |
| 44 | 1行目 | 3. プログラムの マネジメント | 3. プログラムの 管理 |
| 44 | 2行目 | 前述のとおり、導入または改善の取り組みを成功させるには、適切な環境を整備する必要がある | 前述のとおり、導入または改善の取り組みを 確実に 成功させるには、適切な環境を整備する必要がある |
| 44 | 図表17 | ・プログラム マネジメント (外部リング) | ・プログラム 管理 (外部リング) |

COBIT 5 フレームワーク日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|---------------|--|--|
| 44 | 図表17 | ・ 変更 の実現(中間リング) | ・ 変革 の実現(中間リング) |
| 44 | 図表17 | 変更 要求の確立 | 変革 要求の確立 |
| 44 | 図表17 | 成果の 明確化 | 成果の コミュニケーション |
| 44 | 図表17 | 7どのように推進力を 維持 できるか? | 7どのように推進力を 持続 できるか? |
| 44 | 図表17 | 維持 | 持続 |
| 44 | 図表17 | 監視 と評価 | モニタリング と評価 |
| 44 | 5行目 | …現在の問題点を特定し、経営幹部レベルでの 変更 要求を作り出す。 | …現在の問題点を特定し、経営幹部レベルでの 変革 要求を作り出す。 |
| 44 | 下から5行目 | プロジェクトの効果の特定および モニター が徹底しやすくなる。 | プロジェクトの効果の特定および モニタリング が 確実に 行われるようになる。 |
| 44 | 下から4行目 | ビジネスの統合が達成および維持され、パフォーマンスが測定できるように、COBIT の達成目標と測定指標を用いて評価基準を定義し、モニタリングを確立することができる。 | ビジネスの統合が 確実に 達成および維持され、パフォーマンスが測定できるように、COBIT の達成目標と測定指標を用いて評価基準を定義し、モニタリングを確立することができる。 |
| 44 | 下から3行目 | …達成および維持され、 パフォーマンス が測定できるように、… | …達成および維持され、 成果 が測定できるように、… |
| 45 | 第6段落1行目段落9行目 | ・思い描いた価値を創出するために必要なビジネスの 変更 。 | ・思い描いた価値を創出するために必要なビジネスの 変革 。 |
| 45 | 第6段落1行目段落11行目 | 事業体の IT ガバナンスと IT マネジメントの 変更 を行うために必要な投資 | 事業体の IT ガバナンスと IT マネジメントの 変革 を行うために必要な投資 |
| 48 | 図表18 | ポリシー、計画、 手続 | ポリシー、計画、 手続 き |
| 49 | 図表19 | パフォーマンス 属性(PA) 1.1 プロセス パフォーマンス | 実施 属性(PA) 1.1 プロセス 実施 |
| 49 | 図表19 | PA 2.1 パフォーマンス 管理 | PA 2.1 実施 管理 |
| 49 | 図表19 | PA 4.1 プロセス マネジメント | PA 4.1 プロセス 測定 |
| 49 | 図表19 | PA 4.2 プロセス コントロール | PA 4.2 プロセス 制御 |
| 49 | 図表19 | PA 5.1 プロセス イノベーション | PA 5.1 プロセス 革新 |
| 49 | 図表19 | ベース プラクティス(マネジメント/ガバナンスの実践手法) | 基本 プラクティス(マネジメント/ガバナンスの実践手法) |

COBIT 5 フレームワーク日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------|---|---|
| 49 | 下から6行目 | プロセス能力レベル1の達成には、プロセス パフォーマンス の属性をほぼ達成している必要があり、… | プロセス能力レベル1の達成には、プロセス 実施 属性をほぼ達成している必要があり、… |
| 50 | 第4段落2行目 | …記述に使用される数字の 尺度 や用語が明らかに類似しているため… | …記述に使用される数字の スケール や用語が明らかに類似しているため… |
| 50 | 第5段落1行目 | COBIT 4.1 と COBIT 5 の能力の 尺度 は、図表 20 で示されるようにおおよそ対応すると考えることができる。 | COBIT 4.1 と COBIT 5 の能力の スケール は、図表 20 で示されるようにおおよそ対応すると考えることができる。 |
| 50 | 第5段落7行目 | – COBIT 5 でいうプロセスガバナンスまたはプロセスマネジメントの実践手法と同等の ベース プラクティス。 | – COBIT 5 でいうプロセスガバナンスまたはプロセスマネジメントの実践手法と同等の 基本 プラクティス。 |
| 50 | 下から3行目 | COBIT 5 におけるアセスメントモデルは、各能力属性のための測定 尺度 、および適用方法に… | COBIT 5 におけるアセスメントモデルは、各能力属性のための測定 スケール 、および適用方法に… |
| 51 | 図表21 | プロセス パフォーマンス | プロセス 実施 |
| 51 | 図表21 | パフォーマンス 管理 | 実施 管理 |
| 51 | 図表21 | プロセス マネジメント | プロセス 測定 |
| 51 | 図表21 | プロセス コントロール | プロセス 制御 |
| 52 | 第3段落7～8行目 | …アセスメントの 格付け を提供すること。 | …アセスメントの レベル評価 を提供すること。 |
| 52 | 第6段落4行目 | …ISO/IEC 15504評価 尺度 を使用して、各目標の達成度に対して 格付け を行う。この 尺度 は、以下の区分で構成される。 | …ISO/IEC 15504評価 スケール を使用して、各目標の達成度に対して レベル評価 を行う。この スケール は、以下の区分で構成される。 |
| 53 | 2行目 | …実践手法は、同一の評価 尺度 を使用して評価することが可能であり、… | …実践手法は、同一の評価 スケール を使用して評価することが可能であり、… |
| 53 | 3行目 | ベース プラクティスが適用されている範囲を明らかにすることができる。 | 基本 プラクティスが適用されている範囲を明らかにすることができる。 |
| 57 | 9行目 | このマッピングは、以下の 尺度 を用いて表現されている。 | このマッピングは、以下の スケール を用いて表現されている。 |
| 59 | 第2段落6行目 | このマッピングは、以下の 尺度 を用いて表現されている。 | このマッピングは、以下の スケール を用いて表現されている。 |
| 59 | 第2段落8行目 | COBIT5 のプロセスは IT達成目標の達成に対して主要なサポートを提供する。 | COBIT 5 のプロセスは IT達成目標の達成に対して主要なサポートを提供する。 |
| 59 | 第2段落10行目 | COBIT5 のプロセスは IT 達成目標に対して副次的なサポートを提供する。 | COBIT 5 のプロセスは IT 達成目標に対して副次的なサポートを提供する。 |
| 60 | 図表23 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |

COBIT 5 フレームワーク日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-------------|---|---|
| 60 | 図表23 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 60 | 図表23 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 60 | 図表23 | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 60 | 図表23 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 61 | 図表23 | BAI05 組織の 変更 実現性の管理 | BAI05 組織の 変革 実現性の管理 |
| 64 | 図表24データ1行目 | IT 活用のために十分な人材が揃っているか？ どのようにその人材のスキルを伸ばし、維持し、 パフォーマンス を管理するか？ | IT 活用のために十分な人材が揃っているか？ どのようにその人材のスキルを伸ばし、維持し、 成果 を管理するか？ |
| 64 | 図表24データ6行目 | 事業体を 維持 するために、IT はどれほど重要か？ ITが利用できない場合、どうするか？ | 事業体を 持続 させるために、IT はどれほど重要か？ ITが利用できない場合、どうするか？ |
| 65 | 下から10行目 | EDM05「ステークホルダーから見た透明性の 保証 」のプロセスは、… | EDM05「ステークホルダーから見た透明性の 確保 」のプロセスは、… |
| 65 | 下から9行目 | …ITガバナンスとIT パフォーマンス をモニターし、… | …ITガバナンスとIT 成果 をモニターし、… |
| 66 | 第3段落2行目 | …(特にガバナンスドメイン内のプロセス EDM02「効果実現の 保証 」で)… | …(特にガバナンスドメイン内のプロセス EDM02「効果実現の 確保 」で)… |
| 66 | 第3段落6行目 | …投資管理、リスク管理、リレーションシップ マネジメント 、… | …投資管理、リスク管理、 関係管理 、… |
| 66 | 第4段落7行目 | …プロジェクトの失敗、ビジネス運営を 維持 できない、… | …プロジェクトの失敗、ビジネス運営を 持続 できない、… |
| 66 | 第4段落10～11行目 | 導入は、単に技術的な問題ではなく、組織 変更 、ビジネスプロセスの 変更 、トレーニングおよび 変更 の実現が組み合わさったものである。 | 導入は、単に技術的な問題ではなく、組織 変革 、ビジネスプロセスの 変革 、トレーニングおよび 変革 の実現が組み合わさったものである。 |
| 66 | 第4段落11行目 | そのため、IT プロジェクトは、結果の成功を 保証 するために必要な… | そのため、IT プロジェクトは、結果の成功を 確保 するために必要な… |
| 66 | 第4段落13行目 | …、より広範な事業体全体の 変更 プログラムの一部として実施されるべきである。 | …、より広範な事業体全体の 変革 プログラムの一部として実施されるべきである。 |
| 66 | 最終段落3行目 | …効果の実現およびコストの最適化を 保証 するために、… | …効果の実現およびコストの最適化を 確保 するために、… |
| 66 | 最終行 | …さらに、 変更 がビジネスとIT 環境に適用された時に、… | …さらに、 変革 がビジネスとIT 環境に適用された時に、… |
| 67 | 1行目 | コントロールされていることを 保証 するためのガイダンスも提供する。 | コントロールされていることを 確保 するためのガイダンスも提供する。 |
| 67 | 3行目 | …実行されていることを 保証 するために、… | …実行されていることを 確保 するために、… |
| 67 | 第2段落5行目 | …かつ確実にモニターされることを 保証 するためにも必要である。 | …かつ確実にモニターされることを 確保 するためにも必要である。 |
| 67 | 第2段落9行目 | …取締役と マネージャ による、達成目標達成のための説明責任の受諾である。 | …取締役と マネージャー による、達成目標達成のための説明責任の受諾である。 |
| 67 | 第4段落9行目 | …重要なIT関連の要件を 含めるようにする必要 が高まっている。 | …重要なIT関連の要件を 確実に含めることの必要性 が高まっている。 |

COBIT 5 フレームワーク日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------|---|--|
| 67 | 第5段落2行目 | …戦略的計画の一部として 行うようにする 必要がある。 | …戦略的計画の一部として 確実に 行う必要がある。 |
| 67 | 第5段落4行目 | …コンプライアンスが達成される よう にする必要がある。 | …コンプライアンスが達成される ことを確実に する必要がある。 |
| 68 | 5行目 | COBIT 5 のプロセス APO02「戦略管理」は、IT 計画と、ガバナンスの要件を含むビジネス目標全体との整合を とる ための手助けとなる。 | COBIT 5 のプロセス APO02「戦略管理」は、IT 計画と、ガバナンスの要件を含むビジネス目標全体との整合を 確実に するための手助けとなる。 |
| 68 | 12行目 | …評価され、報告されていることを 保証する のを支援する。 | …評価され、報告されていることを 確保 することを支援する。 |
| 68 | 第2段落3行目 | IT ガバナンス自体を含む、IT によって可能になる 変更 の導入には、通常、… | IT ガバナンス自体を含む、IT によって可能になる 変革 の導入には、通常、… |
| 68 | 第2段落8行目 | …人材のトレーニングとスキル強化は 変更 の主要な側面である。 | …人材のトレーニングとスキル強化は 変革 の主要な側面である。 |
| 68 | 第3段落6行目 | …個人の パフォーマンス と企業の達成目標の整合をとる方法と、… | …個人の 成果 と企業の達成目標の整合をとる方法と、… |
| 68 | 第3段落8～9行目 | …アプリケーションの設計が 人的作業と使用の要件を満たす のを支援する。 | …アプリケーションの設計が 業務要件と利用要件を確実に満たす ことを支援する。 |
| 68 | 第3段落10行目 | 4. COBIT 5 のプロセス BAI05「組織の 変更 実現性の管理」および BAI08「知識管理」は、… | 4. COBIT 5 のプロセス BAI05「組織の 変革 実現性の管理」および BAI08「知識管理」は、… |
| 68 | 第3段落11行目 | …ユーザーがシステムを効果的に使用できる ようにしやすく する。 | …ユーザーがシステムを効果的に使用できる ことを確実に する。 |
| 75 | 第3段落4行目 | – 効率的であること – 原則が最も効率的な方法で実施されることを 保証 する。 | – 効率的であること – 原則が最も効率的な方法で実施されることを 確保 する。 |
| 76 | 第2段落5行目 | …または廃棄されていることを 保証 する強力な仕組みがあるかどうかの確認が必要である。 | …または廃棄されていることを 確保 する強力な仕組みがあるかどうかの確認が必要である。 |
| 77 | 例9の下から2行目 | • セキュリティに関するプロセスを 変更 する必要がある。 | • セキュリティに関するプロセスを 変革 する必要がある。 |
| 80 | 下から3行目 | – ITIL、ISO/IEC 27000シリーズや PRINCE2 など、特定の関連する標準や優れた実践手法 | – ITIL、ISO/IEC 27000シリーズや PRINCE2 など、特定の関連する標準や優れた実践手法 |
| 81 | 下から10行目 | • プロセスは、一貫した導入と実行を 保証 するためにポリシーと手続きを生成する、または必要とする。 | • プロセスは、一貫した導入と実行を 確保 するためにポリシーと手続きを生成する、または必要とする。 |
| 82 | 例10の20行目 | – プロセス能力レベル 2 は、 パフォーマンス 管理と作業成果物管理という 2 個の属性の達成を必要とする。 | – プロセス能力レベル 2 は、 実施 管理と作業成果物管理という 2 個の属性の達成を必要とする。 |
| 82 | 例10の22行目 | • プロセスの パフォーマンス の目標が定義されていること。 | • プロセスの 実施 の目標が定義されていること。 |
| 82 | 例10の23行目 | • プロセスの パフォーマンス が計画されていること。 | • プロセスの 実施 が計画されていること。 |
| 82 | 例10の29行目 | • プロセスの パフォーマンス がモニターされていること。 | • プロセスの 実施 がモニターされていること。 |
| 82 | 例10の30行目 | • 計画を満たすように、プロセスの パフォーマンス が調整されていること。 | • 計画を満たすように、プロセスの 実施 が調整されていること。 |

COBIT 5 フレームワーク日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|---------------|---|---|
| 82 | 例10の32行目 | – 同様のアプローチを取ること、さらに高いプロセス能力レベルで、様々な パフォーマンス 能力属性から、… | – 同様のアプローチを取ること、さらに高いプロセス能力レベルで、様々な 実施 能力属性から、… |
| 83 | 第5段落2～3行目 | このモデルは、IT の パフォーマンス の測定やモニタリング、… | このモデルは、IT の 成果 の測定やモニタリング、… |
| 84 | 図表31 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 84 | 図表31 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 84 | 図表31 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 84 | 図表31 | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 84 | 図表31 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 84 | 図表31 | BAI05 組織の 変更 実現性の管理 | BAI05 組織の 変革 実現性の管理 |
| 86 | 図表33のデータ9行目 | 目標を実現し、プロセス改善を推進し、プロセスの 変更 を許可する、… | 目標を実現し、プロセス改善を推進し、プロセスの 変革 を許可する、… |
| 86 | 図表33のデータ9行目 | …プロセスの パフォーマンス について説明責任のある個人。 | …プロセスの 実施 について説明責任のある個人。 |
| 86 | 図表33のデータ10行目 | 取締役会が、主要な IT 関連事項や決定に関与し、情報を得ていることを 保証 するために、… | 取締役会が、主要な IT 関連事項や決定に関与し、情報を得ていることを 確保 するために、… |
| 86 | 図表33のデータ10行目 | …、価値が提供され、リスクが管理されていることを 保証 する。 | …、価値が提供され、リスクが管理されていることを 確保 する。 |
| 86 | 図表33のデータ11行目 | 計画の マネジメント およびモニタリング、リソースの割り当て、効果と価値の提供、プログラムとプロジェクトリスクの マネジメント を含む、… | 計画の 管理 およびモニタリング、リソースの割り当て、効果と価値の提供、プログラムとプロジェクトリスクの 管理 を含む、… |
| 87 | 図表33のデータ3行目 | …投資およびサービスからの価値の 維持 および創出に関する進歩を報告することを含む、… | …投資およびサービスからの価値の 持続 および創出に関する進歩を報告することを含む、… |
| 87 | 図表33のデータ6行目 | 事業体の重要機能が、破壊的なイベントが発生しても機能することを 保証 するために、… | 事業体の重要機能が、破壊的なイベントが発生しても機能することを 確保 するために、… |
| 87 | 図表33のデータ7行目 | …、個人情報保護法の指示が守られていることを 保証 するポリシーおよびアクティビティの指針を提供し、… | …、個人情報保護法の指示が守られていることを 確保 するポリシーおよびアクティビティの指針を提供し、… |
| 89 | 第2段落6行目 | …望ましい行動の定義、導入 及び 指導を行い、… | …望ましい行動の定義、導入 および 指導を行い、… |
| 89 | 下から3行目 | 既存の組織文化を元に事業体は必要な 変更 を特定し、導入に向けて作業することができる。 | 既存の組織文化を元に事業体は必要な 変革 を特定し、導入に向けて作業することができる。 |
| 90 | 例11の下から2行目 | ここでの教訓は、ソリューションの開発の マネジメント およびチームに品質の高い作業を促すためには、… | ここでの教訓は、ソリューションの開発の 管理 およびチームに品質の高い作業を促すためには、… |
| 91 | 図表36「優れた実践手法」 | – 経験的(ユーザ インタフェース) | – 経験的(ユーザー インタフェース) |
| 93 | 第3段落4行目 | – モニタリング — 情報リソースが適切に機能し、有用であることが 保証 されるフェーズ。 | – モニタリング — 情報リソースが適切に機能し、有用であることが 確保 されるフェーズ。 |

COBIT 5 フレームワーク日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|------------|--|---|
| 93 | 第3段落9行目 | ・ ベストプラクティス — 経済、コミュニケーション理論、情報科学、知識管理、情報システムなどの… | ・ 優れた実践手法 — 経済、コミュニケーション理論、情報科学、知識管理、情報システムなどの… |
| 93 | 第4段落1行目 | ベストプラクティス の枠組みは、情報の特性を定義し、… | この 枠組みは、情報の特性を定義し、… |
| 95 | 例14の最終行 | 情報モデルは、情報が、情報のライフサイクル全体で保護されることを 保証 する。 | 情報モデルは、情報が、情報のライフサイクル全体で保護されることを 確保 する。 |
| 100 | 図表39データ5行目 | ・ パフォーマンス モニタリング | ・ 成果 のモニタリング |
| 100 | 第2段落7行目 | — スキルの定義も、情報イネーブラーの ベストプラクティス を考慮すべき情報である。 | — スキルの定義も、情報イネーブラーの 優れた実践手法 を考慮すべき情報である。 |
| 101 | 用語2行目 | ガバナンスとは、 ステイク ホルダーのニーズや、条件、選択肢を評価し、… | ガバナンスとは、 ステーク ホルダーのニーズや、条件、選択肢を評価し、… |
| 101 | 用語2行目 | …計画に沿って パフォーマンス 、準拠性、進捗をモニターすることで、… | …計画に沿って 成果 、準拠性、進捗をモニターすることで、… |
| 101 | 用語2行目 | …事業体の目標が達成されることを 保証 するものである。 | …事業体の目標が達成されることを 確保 するものである。 |
| 101 | 用語3行目 | 事業体の ITガバナンス ITとマネジメント の成功に向け、… | 事業体の ITガバナンス と ITマネジメント の成功に向け、… |
| 102 | 用語1行目 | …IT プロセスの マネジメント とコントロール、および IT ガバナンスの側面にフォーカスしていた。 | …IT プロセスの 管理 とコントロール、および ITガバナンスの側面にフォーカスしていた。 |
| 103 | 用語3行目 | 事業体または個人の行動を開始させる、またその 行動 に影響を及ぼす内外の要因。 | 事業体または個人の行動を開始させる、またその 行動や変革 に影響を及ぼす内外の要因。 |
| 103 | 用語8行目 | ガバナンスとは、 ステイク ホルダーのニーズや、条件、選択肢を評価し、… | ガバナンスとは、 ステーク ホルダーのニーズや、条件、選択肢を評価し、… |
| 103 | 用語8行目 | …合意した方向性と目標に沿って パフォーマンス や準拠性をモニターすることで、… | …合意した方向性と目標に沿って 成果 や準拠性をモニターすることで、… |
| 103 | 用語8行目 | …達成されることを 保証 するものである。 | 達成されることを 確保 するものである。 |
| 103 | 用語8行目 | IT能力が効率的および効果的に提供される ようにすること などの、機能的 IT ガバナンスも含まれる。 | IT能力が効率的および効果的に提供される ことを確実にする などの、機能的 IT ガバナンスも含まれる。 |
| 104 | 用語3行目 | 成果には、成果物、状態の著しい 変更 、または能力の著しい改善などがある。 | 成果には、成果物、状態の著しい 変革 、または能力の著しい改善などがある。 |
| 104 | 用語5行目 | …アクティビティを計画、構築、実行し、 評価 することである。 | …アクティビティを計画、構築、実行し、 モニター することである。 |
| 104 | 用語14行目 | …明確な役割と実行責任、および パフォーマンス を測定する手段が含まれる。 | …明確な役割と実行責任、および 成果 を測定する手段が含まれる。 |
| 105 | 用語2行目 | アクティビティが問題なく完了するように 保証 しなければならない人を指す。 | アクティビティが問題なく完了するように 確保 しなければならない人を指す。 |

別紙2. COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|------------------|---|---|
| 8 | 17行目 | (記載なし) | James Doss, ITIL Expert, TOGAF 9, PMP, SSGB, EMCCA, EMCISA, Oracle DBA, ITValueQuickStart.com, UK |
| 8 | 22行目 | (記載なし) | Kate Gentles, ITValueQuickStart.com, UK |
| 9 | 35行目 | (記載なし) | Rob van der Burg, Microsoft, The Netherlands |
| 15 | 第3段落6行目 | – COBIT 5:Enabling Information(刊行予定) | – COBIT 5:Enabling Information |
| 15 | 第3段落10行目 | – COBIT 5 for Information Security(刊行予定) | – COBIT 5 for Information Security |
| 15 | 第3段落11行目 | – COBIT 5 for Assurance(刊行予定) | – COBIT 5 for Assurance |
| 15 | 第3段落12行目 | – COBIT 5 for Risk(刊行予定) | – COBIT 5 for Risk |
| 15 | 第4段落8行目 | プロセス参照モデルは ベストプラクティス や標準、専門家の… | プロセス参照モデルは 優れた実践手法 や標準、専門家の… |
| 24 | 下から10行目 | – COBIT 5 プロダクトファミリーで追加で刊行される、より詳細かつ具体的なアクティビティの記述 | – COBIT 5 プロダクトファミリー において 追加で刊行された、より詳細かつ具体的なアクティビティの記述 |
| 25 | 下から2行目 | • プロセスは、一貫した導入と実行を 保証 するためにポリシーと手続きを生成する、または必要とする。 | • プロセスは、一貫した導入と実行を 確保 するためにポリシーと手続きを生成する、または必要とする。 |
| 28 | 図表10 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 28 | 図表10 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 28 | 図表10 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 28 | 図表10 | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 28 | 図表10 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 28 | 図表10 | BAI05 組織の 変更 実現性の管理 | BAI05 組織の 変革 実現性の管理 |
| 30 | 図表11 APO11.06 | 継続的改善と ベストプラクティス の周知 | 継続的改善と 優れた実践手法 の周知 |
| 31 | 図表12 PC5 | リシー、計画、および手続き | リシー、計画、および 手続き |
| 33 | 3行目 | 01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | 01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 33 | 4行目 | 02 効果提供の 保証 | 02 効果提供の 確保 |
| 33 | 5行目 | 03 リスク最適化の 保証 | 03 リスク最適化の 確保 |
| 33 | 6行目 | 04 資源最適化の 保証 | 04 資源最適化の 確保 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------------------------------|--|---|
| 33 | 7行目 | 05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | 05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 35 | 1行目 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 35 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 36 | EDM01.01 インプット | ガバナンス/意思決定モデル | ガバナンス/意思決定モデルの ガイダンス |
| 36 | EDM01.02アクティビティ 4. | 提供しているか、確認する。 | 提供することを確保する。 |
| 36 | EDM01.02アクティビティ 5. | …コンプライアンス違反に対する措置の周知および徹底を 指示 する。 | …コンプライアンス違反に対する措置の周知および徹底を 確保 する。 |
| 37 | EDM01.03アクティビティ 6. | IT の利用が関連する義務(規制、制定法、普通法、契約)、標準、指針に準拠していることを 保証 するため、日常的、定型的な活動メカニズムをモニタリングする。 | IT の利用が関連する義務(規制、制定法、普通法、契約)、標準、指針に準拠していることを 確保 するため、日常的、定型的な活動メカニズムをモニタリングする。 |
| 39 | 1行目 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 40 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 40 | EDM02.01アクティビティ 6. | IT 関連の投資、サービス、資産からの価値創出の 保証 において、… | IT 関連の投資、サービス、資産からの価値創出の 確保 において、… |
| 41 | EDM02.02アクティビティ 7. | IT 関連の取り組みによる事業体への価値提供を増大させるために、革新可能性、組織 変更 、あるいは運用の改善についての検討を提言する。 | IT 関連の取り組みによる事業体への価値提供を増大させるために、 イノベーション の可能性、組織 変革 、あるいは運用の改善についての検討を提言する。 |
| 41 | EDM02.03アクティビティ 2. | 価値提供における目標に対する進捗を報告するために、網羅性と信頼性の高い正確な関連データをタイムリーに収集する。意思決定をサポートするために、ポートフォリオ、プログラム、IT(技術的能力および運用面での能力)成果に関する簡潔で高いレベルでの総合的な情報を入手し、期待された結果が 達成されていることを確認 する。 | 価値提供における目標に対する進捗を報告するために、網羅性と信頼性の高い正確な関連データをタイムリーに収集する。意思決定をサポートするために、ポートフォリオ、プログラム、IT(技術的能力および運用面での能力)成果に関する簡潔で高いレベルでの総合的な情報を入手し、期待された結果が 達成されることを確実に する。 |
| 41 | EDM02.03アクティビティ 4. | 報告のレビュー後、経営層による適切な是正措置が取られ、それが コントロールされていることを確認 する。 | 報告のレビュー後、経営層による適切な是正措置が取られ、それが コントロールされることを確実に する。 |
| 43 | 1行目 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------------------------------|--|---|
| 43 | EDM03 プロセスの概要 | 事業体のリスク選好度と許容度が理解、明確化、周知 されていることを確認し 、IT の使用に関する事業体価値へのリスクを確実に特定、管理できるようにする。 | 事業体のリスク選好度と許容度が理解、明確化、周知 されることを確保し 、IT の使用に関する事業体価値へのリスクを確実に特定、管理できるようにする。 |
| 43 | EDM03 プロセスの目的 | IT 関連の事業体リスクが、リスク選好度とリスク許容度を上回らず、事業体価値へのIT リスクの影響を特定、管理し、コンプライアンス違反の可能性を最小限に抑えることを 確実なものとする 。 | IT 関連の事業体リスクが、リスク選好度とリスク許容度を上回らず、事業体価値へのIT リスクの影響を特定、管理し、コンプライアンス違反の可能性を最小限に抑えることを 確保する 。 |
| 43 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 44 | EDM03.01 アクティビティ 4. | 事業体の戦略的な意思決定より前にIT のリスク要因を積極的に評価し、 確実にリスクを認識した上で事業体の意思決定が行われるようにする 。 | 事業体の戦略的な意思決定より前にIT のリスク要因を積極的に評価し、 リスクを認識した上で事業体の意思決定が行われることを確保する 。 |
| 44 | EDM03.01 アクティビティ 6. | リスク管理のアクティビティを評価し、IT 関連の損害に対する事業体の許容度および指導者層への耐性との整合性を確認する 。 | IT 関連の損失に対する事業体の受容能力および指導者層の許容度との整合性を確保するため、 リスク管理のアクティビティを評価する 。 |
| 44 | EDM03.02 ガバナンス実践手法 | リスク管理の実践手法の体系を方向付けることにより、IT リスクの管理手法は実際のIT リスクが取締役会(理事会)の リスク選好度を越えないようにするために適切なものであること について、合理的な保証を提供する。 | リスク管理の実践手法の体系を方向付けることにより、IT リスクの管理手法は実際のIT リスクが取締役会(理事会)の リスク選好度を越えないことを確実にするために適切なものであること について、合理的な保証を提供する。 |
| 47 | 1行目 | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 47 | EDM04 プロセスの概要 | 事業体の目標を最適なコストで効果的にサポートするため、適切で十分なIT 能力(要員、プロセス、技術)が 利用できることを確認する 。 | 事業体の目標を最適なコストで効果的にサポートするため、適切で十分なIT 能力(要員、プロセス、技術)が 利用できるように確保する 。 |
| 47 | EDM04 プロセスの目的 | 資源に対する事業体のニーズが最適な方法で満たされていること、IT コストが最適化されていること、効果実現の可能性の高まりと将来の変化に対する準備態勢を 確実なものとする 。 | 資源に対する事業体のニーズが最適な方法で満たされていること、IT コストが最適化されていること、効果実現の可能性の高まりと将来の変化に対する準備態勢を 確保する 。 |
| 47 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 48 | EDM04.02 ガバナンス実践手法 | 経済的なライフサイクル全体を通してIT 資源を最適に使用できるように、 資源管理原則を適用することを確認する 。 | 経済的なライフサイクル全体を通してIT 資源を最適に使用できるように、 資源管理原則の適用を確実にする 。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------------------------------|--|--|
| 48 | EDM04.03 アクティビティ2. | 事業体の現在と将来のニーズを 満たすため 、IT の調達戦略、エンタープライズアーキテクチャ戦略、IT 資源と能力のモニタリングを行う。 | 事業体の現在と将来のニーズを を満たすことを確実にするため 、IT の調達戦略、エンタープライズアーキテクチャ戦略、IT 資源と能力のモニタリングを行う。 |
| 49 | EDM04 関連ガイダンス KingⅢ | 5.6. 取締役会(理事会)は、情報資産が効果的に管理されていることを 確認 しなければならない。 | 5.6. 取締役会(理事会)は、情報資産が効果的に管理されていることを 確保 しなければならない。 |
| 51 | 1行目 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 51 | EDM05 プロセスの概要 | 事業体のIT の成果および整合性に関する測定と報告の透明性が高く、ステークホルダーが達成目標、測定指標、および必要な是正措置を 承認していることを確認する 。 | 事業体のIT の成果および整合性に関する測定と報告の透明性が高く、ステークホルダーが達成目標、測定指標、および必要な是正措置を 承認していることを確実にする 。 |
| 51 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 52 | EDM05.02 ガバナンス実践手法 | ステークホルダーへの効果的なコミュニケーションと報告が確立されることを 確認 する。 | ステークホルダーへの効果的なコミュニケーションと報告が確立されることを 確保 する。 |
| 52 | EDM05.02 アクティビティ2. | 事業体に義務づけられたIT 報告の要件のためのあらゆる基準を、情報が 満たしているかを検証 する仕組みを導入することを指示する。 | 事業体に義務づけられたIT 報告の要件のためのあらゆる基準を、情報が 満たすことを確保 する仕組みを導入することを指示する。 |
| 56 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 56 | APO01.01 アウトプット(2番目) | 組織の運用ガイドライン | 事業体の運用ガイドライン |
| 57 | APO01.01 アクティビティ 7. | 取締役会(理事会)レベルでIT 戦略委員会(またはそれに準ずるもの)を設置する。この委員会は、取締役会(理事会)の代理として、 事業体のガバナンスの一環であるIT ガバナンスへの対応を適切に行い、戦略的方針に関する助言を行うほか、主要な投資のレビューを行う。 | 取締役会(理事会)レベルでIT 戦略委員会(またはそれに準ずるもの)を設置する。この委員会は、取締役会(理事会)の代理として、 適切な対応と、戦略的方針に関する助言、主要な投資のレビューを行い、事業体のガバナンスの一環であるITガバナンスを確保する。 |
| 57 | APO01.02 アクティビティ5. | 適切な監督の実践手法の導入によって、役割と責任の確実な実行、全ての要員に対する役割と責任の実行に要する権限およびリソースが充足されているかの評価、そして成果に対する全般的なレビューを行う。監督の度合いは、職位に求められる機密性と付与された責任の範囲に応じて定める必要がある。 | 役割と責任の確実な実行、全ての要員に対する役割と責任の実行に要する権限およびリソースが充足されているかの評価、そして成果に対する全般的なレビューを行うことを確実にするため、適切な監督の実践手法を導入する。監督の度合いは、職位に求められる機密性と付与された責任の範囲に応じて定める必要がある。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------------------------------|--|---|
| 57 | APO01.02 アクティビティ6. | 役割と責任を通して説明責任を定義する。 | 役割と責任に応じた説明責任が定義されることを確保する。 |
| 58 | APO01.03 マネジメントの実践手法 | 事業体のITの管理システムと統制環境のイネーブラーを維持し、それらを事業体のガバナンスとマネジメントの理念および運営方針と統合、整合させる。ここでのイネーブラーには期待/要件の明確な周知が含まれる。マネジメントシステムにより、部門間の協力およびチームワークの奨励、準拠性や継続的改善の促進、そしてプロセスからの逸脱(失敗を含む)への対処を行う。 | 事業体のITの管理システムと統制環境のイネーブラーを維持し、それらが事業体のガバナンスとマネジメントの理念および運営方針と統合され、整合されることを確保する。ここでのイネーブラーには期待/要件の明確な周知が含まれる。マネジメントシステムにより、部門間の協力およびチームワークの奨励、準拠性や継続的改善の促進、そしてプロセスからの逸脱(失敗を含む)への対処を行う。 |
| 58 | APO01.03アクティビティ9. | ポリシーへの準拠状況を監視し、準拠違反に対する措置を定める手続きを整備することを保証する。 | ポリシーへの準拠状況を追跡し、準拠違反に対する措置を定める手続きを整備することを確保する。 |
| 58 | APO01.04アクティビティ1. | ITの目標と方向性を継続的に周知する。利用可能なすべての情報チャネルを利用して、経営幹部の行動と言葉がそれをサポートすることを保証する。 | ITの目標と方向性を継続的に周知する。利用可能なすべての情報チャネルを利用して、経営幹部の行動と言葉がそれをサポートすることを確保する。 |
| 58 | APO01.04アクティビティ2. | ITの使命、サービス目標、セキュリティ、内部統制、品質、倫理/行動規範、ポリシーと手続き、役割と責任などの情報を明確に表現し、周知していることを保証する。 | ITの使命、サービス目標、セキュリティ、内部統制、品質、倫理/行動規範、ポリシーと手続き、役割と責任などの情報を明確に表現し、周知していることを確保する。 |
| 59 | APO01.06マネジメントの実践手法 | オーナーが情報およびシステムを分類し、その分類に沿って該当する情報およびシステムを保護することを保証する。 | オーナーが情報およびシステムを分類し、その分類に沿って該当する情報およびシステムを保護することを確保する。 |
| 59 | APO01.06アクティビティ1. | 情報(データ)の適切かつ事業体で一貫した分類を保証するポリシーとガイドラインを提供する。 | 情報(データ)の適切かつ事業体で一貫した分類を確保するポリシーとガイドラインを提供する。 |
| 59 | APO01.07マネジメントの実践手法 | 事業体、ガバナンス、管理、そしてコントロールの目標が達成可能であることを保証するために、... | 事業体、ガバナンス、管理、そしてコントロールの目標が達成可能であることを確保するために、... |
| 59 | APO01.07アクティビティ1. | 成果、整合のドライバ、関連リスクに基づいてビジネス上の重要なプロセスを識別する。 | 成果、整合のドライバー、関連リスクに基づいてビジネス上の重要なプロセスを識別する。 |
| 60 | APO01.08マネジメントの実践手法 | 傾向と成果を監視し、コントロールフレームワークの将来のデザインと改善においてそれらを考慮する。 | 傾向と成果を追跡し、コントロールフレームワークの将来のデザインと改善においてそれらを考慮する。 |
| 60 | APO01.08アクティビティ1. | ポリシーと手続きへの準拠性を監視する。 | ポリシーと手続きへの準拠性を追跡する。 |
| 62 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 63 | APO02.02アクティビティ3. | 参照する標準やベストプラクティス、競合他社のビジネスとITの能力、ベストプラクティスとの比較ベンチマーク、および新たなITサービスと照らし合わせて、 | 参照する標準や優れた実践手法、競合他社のビジネスとITの能力、優れた実践手法との比較ベンチマーク、および新たなITサービスと照らし合わせて、 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------------------------------|---|---|
| 64 | APO02.03マネジメントの実践手法 | …、そして参照する標準や ベストプラクティス 、検証済の新規技術やイノベーションの提案の検討に基づいたものでなければならない。 | …、そして参照する標準や 優れた実践手法 、検証済の新規技術やイノベーションの提案の検討に基づいたものでなければならない。 |
| 65 | APO02.05アウトプット(2番) | リスクアセスメント | リスクアセスメントの取り組み |
| 65 | APO02.05アクティビティ2. | 計画プロセスにおいては、組織 変更 、技術の進化、規制要件、… | 計画プロセスにおいては、組織 変革 、技術の進化、規制要件、… |
| 68 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 69 | APO03.01アクティビティ7. | 事業体の原則を含め、アーキテクチャの原則を確認し、詳細を記述する。 既存の定義が最新であることを確認し、曖昧な分野があれば明確化する。 | 事業体の原則を含め、アーキテクチャの原則を確認し、詳細を記述する。 現在の定義を最新とし、曖昧な部分がないよう明確化することを確実にする。 |
| 69 | APO03.01アクティビティ8. | 現在の事業体における戦略上の達成目標と目的を理解する。また、IT関連のエンタープライズアーキテクチャによる機会が戦略上の 計画を促進するよう 、戦略上の計画プロセスに従って作業を行う。 | 現在の事業体における戦略上の達成目標と目的を理解する。また、IT関連のエンタープライズアーキテクチャによる機会が戦略上の 計画を促進することを確実にするよう 、戦略上の計画プロセスに従って作業を行う。 |
| 70 | APO03.03マネジメントの実践手法 | …アーキテクチャの取り組みがそれらの投資プログラムと整合し、事業体の変革の一部として実現されることを 保証 する。… | …アーキテクチャの取り組みがそれらの投資プログラムと整合し、事業体の変革の一部として実現されることを 確保 する。… |
| 70 | APO03.03インプット | APO02.03 エンタープライズアーキテクチャ 変更 の提案 | APO02.03 エンタープライズアーキテクチャ 変革 の提案 |
| 70 | APO03.03アクティビティ6. | …それらを依存関係分析報告として整理することを 保証 する。 | …それらを依存関係分析報告として整理することを 確保 する。 |
| 70 | APO03.03アクティビティ10. | 目標アーキテクチャを実現するために必要な 変更 の範囲が、… | 目標アーキテクチャを実現するために必要な 変革 の範囲が、… |
| 71 | APO03.04マネジメントの実践手法 | …必要な作業を完了するために必要なリソースが利用可能となることを 保証 する。 | …必要な作業を完了するために必要なリソースが利用可能となることを 確保 する。 |
| 71 | APO03.04アクティビティ1. | …これを関連する意思決定者の要件と整合することを 保証 する。 | …これを関連する意思決定者の要件と整合することを 確保 する。 |
| 74 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------------------------------|--|--|
| 74 | APO04.01アクティビティ 4. | …適切に評価する意思決定体制を整備し、 アイデア を推進するためのプログラムを整備する。 | …適切に評価する意思決定体制を整備し、 アイデア を推進するためのプログラムを整備する。 |
| 76 | APO04.06 マネジメントの実践手法 | 経済的ライフサイクルの全般において、 新技術とイノベーションの導入・利用に関するモニタリング を行う。これにより、期待効果の実現状況を確認するとともに、 得られた教訓を識別 する。 | 経済的ライフサイクルの全般において、 新技術とイノベーションの導入・利用に関するモニタリング を行い、 約束した価値を実現 すること、および 得られた教訓を明らかに することを確保する。 |
| 78 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 78 | APO05.01マネジメントの実践手法 | 事業体戦略とIT 戦略、および現行のサービスが明確であることをレビューし、 保証 する。… | 事業体戦略とIT 戦略、および現行のサービスが明確であることをレビューし、 確認 する。… |
| 78 | APO05.01 インプット(2番目の2項目目) | リスクアセスメント | リスクアセスメントの取り組み |
| 79 | APO05.03 インプット(8番目) | サービスレベル・アグリーメント(SLA) | SLA |
| 80 | APO05.04アクティビティ 2. | …ポートフォリオが全体の価値を最適化していることを 保証 する。 | …ポートフォリオが全体の価値を最適化していることを 確保 する。 |
| 83 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 84 | APO06.01アクティビティ 1. | …IT 資産およびサービスポートフォリオについて予算管理と執行管理が維持されることを 保証 する。 | …IT 資産およびサービスポートフォリオについて予算管理と執行管理が維持されることを 確保 する。 |
| 85 | APO06.03 アクティビティ 2. | 予算の作成に当たっては、以下の要素を検討する: | 予算の作成に当たっては、以下の要素を検討する。 |
| 85 | APO06.03アクティビティ 7. | …その結果を使用した改善により将来の予算がより正確で信頼性が高くコスト効率が優れたものになることを 保証 する。 | …その結果を使用した改善により将来の予算がより正確で信頼性が高くコスト効率が優れたものになることを 確保 する。 |
| 85 | APO06.04 マネジメント実践手法 | サービス定義に基づいたIT コストモデルを確立、使用して、サービスコストの配賦を特定可能、測定可能かつ予測可能にする。サプライヤーから提供されるリソースを含め、リソースの責任ある利用を促す。 | サプライヤーから提供されるものを含む資源の責任ある利用を促すために、サービスコストの配賦を特定可能、測定可能かつ予測可能とすることを確保し、サービス定義に基づいたITコストモデルを確立して使用する。 |
| 85 | APO06.04 アクティビティ 3. | 以下を満たすモデルを定義のうえ、合意する: | 以下を満たすモデルを定義のうえ、合意する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------------------------------|--|--|
| 86 | APO06.05アクティビティ 1. | IT の予算執行者と、財務情報を捕捉、分析、報告する担当者の、適切な権限と独立性を 保証 する。 | IT の予算執行者と、財務情報を捕捉、分析、報告する担当者の、適切な権限と独立性を 確保 する。 |
| 86 | APO06.05アクティビティ 3. | 以下の差異情報を特定するためのデータ収集方法を定義する： | 以下の差異情報を特定するためのデータ収集方法を定義する。 |
| 86 | APO06.05アクティビティ 3. | ー サービスのコスト最適化のためのサービス実績コストの傾向(たとえば、 ユーザ 当たりのコストで定義) | ー サービスのコスト最適化のためのサービス実績コストの傾向(たとえば、 ユーザー 当たりのコストで定義) |
| 86 | APO06.05アクティビティ 6. | 適切なレベルの経営層が分析結果をレビューし、是正措置の提案を承認することを 保証 する。 | 適切なレベルの経営層が分析結果をレビューし、是正措置の提案を承認することを 確保 する。 |
| 86 | APO06.05アクティビティ 7. | コスト構造と事業体のニーズの変化を識別し、必要に応じて予算と予測を修正することを 保証 する。 | コスト構造と事業体のニーズの変化を識別し、必要に応じて予算と予測を修正することを 確保 する。 |
| 88 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 88 | APO07.01マネジメントの実践手法 | …これにより、事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源の 確保を保証 する。… | …これにより、事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源を 確保 する。… |
| 88 | APO07.01アクティビティ 1. | スタッフ配置要件について、定期的に、または大幅な変更に応じて評価を行うことにより、以下を 保証 する： | スタッフ配置要件について、定期的に、または大幅な変更に応じて評価を行うことにより、以下を 確保 する。 |
| 88 | APO07.01アクティビティ 5. | 属人化を軽減するためにクロス研修を行い、重要なスタッフにはバックアップを準備することを 保証 する。 | 属人化を軽減するためにクロス研修を行い、重要なスタッフにはバックアップを準備することを 確保 する。 |
| 89 | APO07.02 アウトプット | (説明:空白、送付先:空白) | 説明: 主要な担当者のリスト 送付先: 内部 |
| 89 | APO07.03アクティビティ 7. | …スキルおよび能力が十分であることを 保証 するために、… | …スキルおよび能力が十分であることを 確保 するために、… |
| 90 | APO07.04アクティビティ 7. | 適切なコミットメント、能力開発、成果達成に報いる、報酬/表彰プロセスを導入する。 プロセスが一貫して、そして組織のポリシーに沿って適用されていることを確認 する。 | 適切なコミットメント、能力開発、成果達成に報いる、報酬/表彰プロセスを導入する。 プロセスが一貫して組織のポリシーに沿って適用されることを確保 する。 |
| 90 | APO07.05 アウトプット(6番目) | 参照元: 事業体組織 、説明: 現在および将来のポートフォリオ | (参照元: 空白 、説明: 空白) |
| 91 | APO07.06 マネジメントの実践手法 | IT スキルにより事業体をサポートするコンサルタントや契約スタッフが、組織のポリシーを認識、遵守し、合意した契約要件を確実に守るようになる。 | 組織のポリシーを認識、遵守し、合意した契約要件を守り、ITスキルで事業体をサポートする、コンサルタントと契約スタッフを確保する。 |
| 91 | APO07.06 アクティビティ 7. | 契約スタッフがすべての必要な契約に署名、合意していることを確認するために、定期的なレビューを実施する。 | 定期的なレビューを実施し、契約スタッフがすべての必要な契約に署名、合意していることを確保する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|----|-----------------------------------|---|--|
| 91 | APO07.06 アクティビティ 8. | 契約スタッフの役割とアクセス権が適切かつ契約に沿ったものであることを確認するために、定期的なレビューを実施する。 | 定期的なレビューを実施し、契約スタッフの役割とアクセス権が適切かつ契約に沿ったものであることを確保する。 |
| 93 | APO08 プロセスの概要 | 予算とリスク許容度の制約内で戦略上の達成目標をサポートするために、事業体の成功という共通かつ共有された達成目標に 集中 できるような、定式化された透明性の高い方法でビジネスとIT の関係を管理する。オープンで理解できる用語と共通の言語、そして重要な意思決定に関するオーナーシップと責任を取る姿勢によって、相互信頼を基盤とした関係を築く。 | 予算とリスク許容度の制約内で戦略上の達成目標をサポートするために、事業体の成功という共通かつ共有された達成目標に 集中 することを 確実に する、定式化された透明性の高い方法でビジネスとIT の関係を管理する。オープンで理解できる用語と共通の言語、そして重要な意思決定に関するオーナーシップと責任を取る姿勢によって、相互信頼を基盤とした関係を築く。 |
| 94 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 94 | APO08.01 マネジメントの実践手法 | ビジネスの課題と目標、そしてIT に対する事業部門の期待を理解する。要件が理解、管理、周知されており、そのステータスが合意の上承認されるように する 。 | ビジネスの課題と目標、そしてIT に対する事業部門の期待を理解する。要件が理解、管理、周知されており、そのステータスが合意の上承認されることを 確実に する。 |
| 94 | APO08.01 アクティビティ 4. | IT 関連サービスおよびソリューションに対する事業部門の期待を明確化し、要件および関連する事業部門の受け入れ基準と測定指標が 定義されていることを確認 する。 | IT 関連サービスおよびソリューションに対する事業部門の期待を明確化し、要件および関連する事業部門の受け入れ基準と測定指標が 定義されることを確実に する。 |
| 95 | APO08.02 アクティビティ 4. | 事業部門とIT 部門が戦略上の目標とエンタープライズアーキテクチャのビジョンを理解、認識する ように する。 | 事業部門とIT 部門が戦略上の目標とエンタープライズアーキテクチャのビジョンを理解、認識 することを確実に する。 |
| 95 | APO08.03 マネジメントの実践手法 | 顧客(事業部門の代表者)との関係を管理する。関係に関わる役割と責任が定義され、割り当てられており、コミュニケーションが 促進 されていることを 確認 する。 | 顧客(事業部門の代表者)との関係を管理する。関係に関わる役割と責任が定義され、割り当てられており、コミュニケーションが 促進 されることを 確実に する。 |
| 95 | APO08.03 アクティビティ 1. | 重要な事業部門のそれぞれに対して、単一の窓口として関係管理者を任命する。事業部門内で単一の対応担当者が特定されており、またその対応担当者はビジネスの理解、技術に対する十分な認識、そして適切なレベルの権限を 有していることを確認 する。 | 重要な事業部門のそれぞれに対して、単一の窓口として関係管理者を任命する。事業部門内で単一の対応担当者が特定されており、またその対応担当者はビジネスの理解、技術に対する十分な認識、そして適切なレベルの権限を 有することを確実に する。 |
| 95 | APO08.03 アクティビティ 2. | 予算とリスク許容度の制約内で戦略的達成目標をサポートするために、事業体の成功という共通かつ共有の目標の達成に 集中 できるような、定式化された透明性の高い方法で関係を管理する。 | 予算とリスク許容度の制約内で戦略的達成目標をサポートするために、事業体の成功という共通かつ共有の目標の達成に 確実に集中 できるような、定式化された透明性の高い方法で関係を管理する。 |
| 95 | APO08.03 アクティビティ 5. | 主要な意思決定が、関連する説明責任を有するステークホルダーによって合意、承認 されていることを確認 する。 | 主要な意思決定が、関連する説明責任を有するステークホルダーによって合意、承認 されることを確実に する。 |
| 96 | APO08.05 インプット(2番目の1項目目) | 顧客からのフィードバックを含む、サービスの品質結果 | 顧客からのフィードバックを含む、サービスの品質レビュー結果 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|--|--|
| 96 | APO08.05アクティビティ 1. | 顧客とプロバイダーの満足度分析を行う。 課題に対応されていることを確認し、結果とステータスを報告する。 | 顧客とプロバイダーの満足度分析を行う。 課題への対応を確実にし、結果とステータスを報告する。 |
| 96 | APO08.05アクティビティ 3. | …問題の根本原因が特定され解決されることを 保証 する。 | …問題の根本原因が特定され解決されることを 確保 する。 |
| 97 | プロセスの目的 | IT サービスとサービスレベルが、現在と将来の事業体のニーズを満たすことを 保証 する。 | IT サービスとサービスレベルが、現在と将来の事業体のニーズを満たすことを 確保 する。 |
| 97 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 98 | APO09.02 アクティビティ 2. | ポートフォリオ内のサービスのコンポーネントと関連するサービスカタログが網羅的かつ最新状態に維持されていることを継続的に 確認 する。 | ポートフォリオ内のサービスのコンポーネントと関連するサービスカタログが網羅的かつ最新状態に維持されていることを継続的に 確実に する。 |
| 98 | APO09.03 インプット(2番目) | (参照元: 空白 、説明: 空白) | 参照元: BAI03.02 、説明: SLAとOLAの改訂版 |
| 98 | APO09.03 アウトプット(2番目) | オペレーショナルレベル・アグリーメント(OLA) | OLA |
| 98 | APO09.03 アクティビティ 1. | 事業部門の関係管理者から受けたサービスアグリーメントの新規追加または変更に関する要求事項の分析を行い、要求と要件が 一致するように する。サービス時間、可用性、性能、キャパシティ、セキュリティ、継続性、コンプライアンスや規制の問題、使いやすさ、需要面での制約などを検討する。 | 要求と要件が 一致することを確実に するために、事業部門の関係管理者から受けたサービスアグリーメントの新規追加または変更に関する要求事項の分析を行う。サービス時間、可用性、性能、キャパシティ、セキュリティ、継続性、コンプライアンスや規制の問題、使いやすさ、需要面での制約などを検討する。 |
| 98 | APO09.03 アクティビティ 4. | 適用可能な場合は、サプライヤー管理者と連携して、外部サプライヤーとの適切な商契約によって、顧客サービスアグリーメントが 支えられるように する。 | 適用可能な場合は、サプライヤー管理者と連携して、外部サプライヤーとの適切な商契約によって、顧客サービスアグリーメントが 補強されることを確実に する。 |
| 99 | APO09.05 アウトプット | 更新されたSLA | SLAの改訂版 |
| 99 | APO09.05 アクティビティ 1. | 合意された条件に従って定期的にサービスアグリーメントのレビューを行い、それらが有効かつ最新に維持されており、必要に応じて要件、IT 関連サービス、サービスパッケージ、サービスレベルオプションを変更することが 考慮されていることを確認 する。 | 合意された条件に従って定期的にサービスアグリーメントのレビューを行い、それらが有効かつ最新に維持されており、必要に応じて要件、IT 関連サービス、サービスパッケージ、サービスレベルオプションを変更することが 考慮されることを確実に する。 |
| 101 | プロセスの目的 | 不適格なサプライヤーによるリスクを最小化し、競争力のある価格を 保証 する。 | 不適格なサプライヤーによるリスクを最小化し、競争力のある価格を 確保 する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|---|---|--|
| 101 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 (注記なし) | | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 102 | APO10.02アクティビティ1. | すべてのRFIとRFPをレビューして以下の事を 確認する ： | すべてのRFIとRFPをレビューして以下の事を 確実にする 。 |
| 102 | APO10.02アクティビティ7. | …これらの権利 及び 義務には、サービスレベル、保守手順、… | …これらの権利 および 義務には、サービスレベル、保守手順、… |
| 103 | APO10.03 マネジメントの実践手法 | 各サプライヤーとの関係を正式なものとし、管理する。契約とサービス提供の管理、保守、モニタリングを行う。新規、あるいは変更された契約が事業体の標準、法令要件に従っていることを 確認する 。契約上発生する係争に対処する。 | 各サプライヤーとの関係を正式なものとし、管理する。契約とサービス提供の管理、保守、モニタリングを行う。新規、あるいは変更された契約が事業体の標準、法令要件に従っていることを 確実にする 。契約上発生する係争に対処する。 |
| 103 | APO10.03 アクティビティ1. | サプライヤーと正式な契約について、合意、管理、維持、および更新を行う。契約が事業体の基準および法令・規制要件に従っていることを 確認する 。 | サプライヤーと正式な契約について、合意、管理、維持、および更新を行う。契約が事業体の基準および法令・規制要件に従っていることを 確実にする 。 |
| 103 | APO10.05 アクティビティ1. | サプライヤーの成果とサービスレベル・アグリーメントとの整合性に関するモニタリング基準を定義、文書化し、サプライヤーが定期的かつ高い透明性で、合意された基準に基づいた報告を行っていることを 確認する 。 | サプライヤーの成果とサービスレベル・アグリーメントとの整合性に関するモニタリング基準を定義、文書化し、サプライヤーが定期的かつ高い透明性で、合意された基準に基づいた報告を行っていることを 確実にする 。 |
| 103 | APO10.05 アクティビティ2. | サービス提供のモニタリングとレビューを行い、サプライヤーが許容できる品質のサービスを提供し、要件を満たし、契約条件を遵守していることを 確認する 。 | サービス提供のモニタリングとレビューを行い、サプライヤーが許容できる品質のサービスを提供し、要件を満たし、契約条件を遵守していることを 確認する 。 |
| 103 | APO10.05 アクティビティ3. | サプライヤーの成果と費用に対する価値をレビューし、代替サプライヤーや市場の状況と比較して信頼性と競争力が高いことを 確認する 。 | サプライヤーの成果と費用に対する価値をレビューし、代替サプライヤーや市場の状況と比較して信頼性と競争力が高いことを 確実にする 。 |
| 105 | プロセスの目的 | 事業体の品質要件や、ステークホルダーのニーズを満たすソリューションとサービスの提供を 保証 する。 | 事業体の品質要件や、ステークホルダーのニーズを満たすソリューションとサービスの提供を 確保 する。 |
| 106 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 (注記なし) | | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|---|--|
| 106 | APO11.01 アクティビティ 1. | IT コントロールフレームワークおよび、ビジネスとIT のプロセスにおいて、事業体の要件に従った標準、正式かつ継続的な品質管理のアプローチが含まれていることを 確認 する。また、これらのフレームワークやプロセス内において、品質要件と対応すべき基準(たとえば、法的要件や顧客からの要件に基づく)を識別する。 | IT コントロールフレームワークおよび、ビジネスとIT のプロセスにおいて、事業体の要件に従った標準、正式かつ継続的な品質管理のアプローチが含まれていることを 確実に する。また、これらのフレームワークやプロセス内において、品質要件と対応すべき基準(たとえば、法的要件や顧客からの要件に基づく)を識別する。 |
| 107 | APO11.02アクティビティ 1. | …。事業体における品質管理の実践手法を改善、調整する際には、業界の ベストプラクティス を参照する。 | …。事業体における品質管理の実践手法を改善、調整する際には、業界の 優れた実践手法 を参照する。 |
| 107 | APO11.03アクティビティ 1. | 内外の顧客の要件を判断し、IT 標準およびIT の実践手法との 整合を図る ことにより、顧客に焦点を当てた品質管理を行う。ユーザー/顧客とIT 組織の間に生じる利害衝突の解決に関する役割と実行責任を定義し、周知する。 | 内外の顧客の要件を判断し、IT 標準およびIT の実践手法との 確実な整合を図る ことにより、顧客に焦点を当てた品質管理を行う。ユーザー/顧客とIT 組織の間に生じる利害衝突の解決に関する役割と実行責任を定義し、周知する。 |
| 107 | APO11.03アクティビティ 4. | ビジネスプロセス、サービス提供、IT ソリューション提供に関する顧客の意見を定期的に収集し、IT 標準と実践手法に対する影響を見極め、顧客の期待に応えていることを 確認 する。 | ビジネスプロセス、サービス提供、IT ソリューション提供に関する顧客の意見を定期的に収集し、IT 標準と実践手法に対する影響を見極め、顧客の期待に応えていることを 確実に する。 |
| 108 | APO11.04 インプット(1番目の2項目) | QA計画 | 品質保証計画 |
| 108 | APO11.04 アクティビティ 4. | プロセスの品質と、品質が提供する価値のモニタリングを行う。プロセスオーナーが適切な是正措置および予防措置を講じるために、情報を測定、モニタリングおよび記録 していることを確認 する。 | プロセスの品質と、品質が提供する価値のモニタリングを行う。プロセスオーナーが適切な是正措置および予防措置を講じるために、情報を測定、モニタリングおよび記録 することを確実に する。 |
| 108 | APO11.04 アクティビティ 6. | 経営層とプロセスオーナーが定期的に、品質管理の成果を品質指標に照らしてレビュー していることを確認 する。 | 経営層とプロセスオーナーが定期的に、品質管理の成果を品質指標に照らしてレビュー することを確実に する。 |
| 109 | APO11.06アウトプット | 継続的改善と ベストプラクティス の周知 | 継続的改善と 優れた実践手法 の周知 |
| 109 | APO11.06アクティビティ 2. | ベストプラクティス を共有、あるいは欠陥や誤りに関する情報を収集し、それらから学習することを可能とするプラットフォームを整備する。 | 優れた実践手法 を共有、あるいは欠陥や誤りに関する情報を収集し、それらから学習することを可能とするプラットフォームを整備する。 |
| 112 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 112 | APO12.01 インプット(4番目) | リスクアセスメント | リスクアセスメントの主導 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|--|---|
| 115 | APO12.06アクティビティ 1. | リスクイベントにより事業への深刻な影響を伴う運用上または開発上のインシデントを引き起こす可能性がある場合に、講じるべき具体的な手順を文書化した計画を作成し、維持、テストする。計画には、事業体全体にわたるエスカレーションの経路が 含まれていることを確認する。 | リスクイベントにより事業への深刻な影響を伴う運用上または開発上のインシデントを引き起こす可能性がある場合に、講じるべき具体的な手順を文書化した計画を作成し、維持、テストする。計画には、事業体全体にわたるエスカレーションの経路が 含まれていることを確実にする。 |
| 115 | APO12.06アクティビティ 4. | …これらの根本原因、対応要件とプロセス改善をリスクガバナンスのプロセスに 確実に含めることを保証する。 | …これらの根本原因、対応要件とプロセス改善をリスクガバナンスのプロセスに 確実に含める。 |
| 118 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 119 | APO13.02 マネジメントの実践手法 | 事業体の戦略およびエンタープライズアーキテクチャと整合されるかを記述する情報セキュリティ計画を立案・維持する。セキュリティの改善実施提案が、承認されたビジネスケースに基づくものであること、また、サービスおよびソリューション開発や事業運営の一部として導入、 運用されていることを確認する。 | 事業体の戦略およびエンタープライズアーキテクチャと整合されるかを記述する情報セキュリティ計画を立案・維持する。セキュリティの改善実施提案が、承認されたビジネスケースに基づくものであること、また、サービスおよびソリューション開発や事業運営の一部として導入、 運用されることを確実にする。 |
| 119 | APO13.02アクティビティ 1. | …適切で最適なマネジメントの実践手法およびセキュリティ解決策が 特定されていることを保証する。 | …適切で最適なマネジメントの実践手法およびセキュリティ解決策が 特定されていることを確保する。 |
| 119 | APO13.03アクティビティ 3. | 定期的にISMS の管理レビューを実施し、ISMS の範囲が十分であり、ISMS プロセスの改善点が 識別されていることを確認する。 | 定期的にISMS の管理レビューを実施し、ISMS の範囲が十分であり、ISMS プロセスの改善点が 識別されることを確実にする。 |
| 121 | 6行目 | 05 組織の 変更 実現性の管理 | 05 組織の 変革 実現性の管理 |
| 124 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 125 | BAI01.01アクティビティ 1. | …ライフサイクル全体で従うべき規律が含まれることを 保証する。 | …ライフサイクル全体で従うべき規律が含まれることを 確保する。 |
| 125 | BAI01.02アクティビティ 1. | …プログラムから重大な影響を受けるメンバーで構成され、 変更 の実現が求められる。 | …プログラムから重大な影響を受けるメンバーで構成され、 変革 の実現が求められる。 |
| 125 | BAI01.02アクティビティ 4. | 計画された効果のオーナーを明確にし、その効果が達成され、持続し、常に 最適化するため 、プログラム全体を通じて管理されるべき効果の実現計画を策定する。 | 計画された効果のオーナーを明確にし、その効果が達成され、持続し、常に 最適化されることを確実にするため 、プログラム全体を通じて管理されるべき効果の実現計画を策定する。 |
| 126 | BAI01.03アクティビティ 2. | …ステークホルダーがプログラム/ プロジェクトに参画することを 保証する。 | …ステークホルダーがプログラム/ プロジェクトに参画することを 確保する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|---------------------|---|--|
| 126 | BAI01.04マネジメントの実践手法 | …現在までの状況および見通しを反映することを 保証 する。 | …現在までの状況および見通しを反映することを 確保 する。 |
| 126 | BAI01.04アクティビティ 1. | …そのプログラム計画には、事業体にもたらしべき 変更 、事業体のイメージ・製品・サービス、… | …そのプログラム計画には、事業体にもたらしべき 変革 、事業体のイメージ・製品・サービス、… |
| 126 | BAI01.04アクティビティ 4. | すべてのプロジェクトおよびプログラム全体において、プログラム計画と進捗報告の効果的なコミュニケーションが確実に行われるようにする。個々の計画に加えられたすべての変更が、事業体のその他のプログラム計画に反映されていることを 確認 する。 | すべてのプロジェクトおよびプログラム全体において、プログラム計画と進捗報告の効果的なコミュニケーションが確実に行われるようにする。個々の計画に加えられたすべての変更が、事業体のその他のプログラム計画に反映されていることを 確保 する。 |
| 126 | BAI01.04アクティビティ 5. | プログラム計画においては、現在の戦略的目標との整合性、実際の進捗、結果・効果・コスト・リスクに対する重大な変更を 反映させ 、最新状態に維持する。プログラムが設計通りに事業体の要件を 満たすため 、全体を通して事業部門が目標と作業の優先順位を決定するようにする。個々のプロジェクトの進捗状況を確認し、スケジュールされたマイルストーンに合わせて、必要に応じてプロジェクトの調整を行う。 | プログラム計画においては、現在の戦略的目標との整合性、実際の進捗、結果・効果・コスト・リスクに対する重大な変更を 確実に反映させ 、最新状態に維持する。プログラムが設計通りに事業体の要件を 満たすことを確実にするため 、全体を通して事業部門が目標と作業の優先順位を決定するようにする。個々のプロジェクトの進捗状況を確認し、スケジュールされたマイルストーンに合わせて、必要に応じてプロジェクトの調整を行う。 |
| 127 | BAI01.05アクティビティ 3. | 計画された効果のオーナーを明確にし、その効果が実現され、持続し、最適化することを 保証 するために、… | 計画された効果のオーナーを明確にし、その効果が実現され、持続し、最適化することを 確保 するために、… |
| 127 | BAI01.05アクティビティ 4. | …ステークホルダーの要求を満たすことにより価値の提供に焦点を当てていることを 保証 する。 | …ステークホルダーの要求を満たすことにより価値の提供に焦点を当てていることを 確保 する。 |
| 128 | BAI01.06アクティビティ 2. | …実施された事業体の 変更 、効果実現計画に対して実際に実現した効果、… | …実施された事業体の 変革 、効果実現計画に対して実際に実現した効果、… |
| 128 | BAI01.07アクティビティ 2. | …権限を与えられた1人以上のスポンサーを割り当てることを 保証 する。 | …権限を与えられた1人以上のスポンサーを割り当てることを 確保 する。 |
| 128 | BAI01.07アクティビティ 3. | 事業体内の主要なステークホルダーおよびスポンサーとIT部門が、プロジェクトの成功(受け入れ)基準や主要成果指標(KPI)を含むプロジェクトの要件に合意し、それを受け入れていることを 確認 する。 | 事業体内の主要なステークホルダーおよびスポンサーとIT部門が、プロジェクトの成功(受け入れ)基準や主要成果指標(KPI)を含むプロジェクトの要件に合意し、それを受け入れていることを 確実に する。 |
| 128 | BAI01.07アクティビティ 4. | …プロジェクトコミュニケーション計画に対する要件を記述することを 保証 する。 | …プロジェクトコミュニケーション計画に対する要件を記述することを 確保 する。 |
| 128 | BA01.08 アクティビティ 2. | プロジェクト計画および関連する計画(たとえば、リスク計画、品質計画、効果実現計画など)の保守を行い、これらが最新状態に維持されており、実際の進捗と承認済の重要な変更を反映していることを 確認 する。 | プロジェクト計画および関連する計画(たとえば、リスク計画、品質計画、効果実現計画など)の保守を行い、これらが最新状態に維持されており、実際の進捗と承認済の重要な変更を反映していることを 確実に する。 |
| 128 | BA01.08 アクティビティ 3. | すべてのプロジェクトおよびプログラム全体において、プロジェクト計画と進捗報告に関する効果的なコミュニケーションが実現していることを 確認 する。個々の計画に加えられたすべての変更がその他のプログラム計画に反映されていることを 確認 する。 | すべてのプロジェクトおよびプログラム全体において、プロジェクト計画と進捗報告に関する効果的なコミュニケーションが実現していることを 確実に する。個々の計画に加えられたすべての変更がその他のプログラム計画に反映されていることを 確実に する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|--|---|
| 128 | BA01.08 アクティビティ 5. | 各々のマイルストーンには、レビューと承認を必要とする重要な成果物が伴っていることを 確認する 。 | 各々のマイルストーンには、レビューと承認を必要とする重要な成果物が伴っていることを 確実にする 。 |
| 129 | BAI01.09 アクティビティ 1. | …内部統制およびセキュリティ機能が定められた要件を満たすことを 保証 する。 | …内部統制およびセキュリティ機能が定められた要件を満たすことを 確保 する。 |
| 129 | BA01.10 アクティビティ 1. | ERM フレームワークに沿った正式なプロジェクトリスク管理のアプローチを確立する。このアプローチには、リスクの特定、分析、対応、軽減、モニタリングおよびコントロールが含まれることを 確認する 。 | ERM フレームワークに沿った正式なプロジェクトリスク管理のアプローチを確立する。このアプローチには、リスクの特定、分析、対応、軽減、モニタリングおよびコントロールが含まれることを 確実にする 。 |
| 129 | BA01.10 アクティビティ 2. | 適切なスキルを有する要員に、プロジェクト内における事業体のプロジェクトリスク管理プロセスを実行し、これをソリューション開発の実践手法に組み入れる実施責任を割り当てる。 客観的な視点が必要な場合や、プロジェクトが重要とみなされる場合には、独立したチームにこの役割を割り当てることを検討する。 | プロジェクトにおける事業体のプロジェクトリスク管理プロセスをソリューション開発の実践手法に組み入れることを確実にするため、適切なスキルを有する要員に実施責任を割り当てる。 客観的な視点が必要な場合や、プロジェクトが重要とみなされる場合には、独立したチームにこの役割を割り当てることを検討する。 |
| 131 | BAI01.14 アクティビティ 3. | …これを 保証 するために、将来の追加投資が必要となる可能性がある。 | …これを 確保 するために、将来の追加投資が必要となる可能性がある。 |
| 133 | BAI02 プロセスの概要 | 取得あるいは構築の前に、ソリューションの特定と要件の分析を行い、それらがビジネスプロセス、アプリケーション、情報/ データ、インフラストラクチャ、サービスなどの事業体の戦略的な要件に沿ったものであることを 確認する 。影響を受けるステークホルダーと協力して、要件と提案されたソリューションに対する相対的なコストと効果、リスク分析、承認など、実現可能な選択肢のレビューを行う。 | 取得あるいは構築の前に、ソリューションの特定と要件の分析を行い、それらがビジネスプロセス、アプリケーション、情報/ データ、インフラストラクチャ、サービスなどの事業体の戦略的な要件に沿ったものであることを 確実にする 。影響を受けるステークホルダーと協力して、要件と提案されたソリューションに対する相対的なコストと効果、リスク分析、承認など、実現可能な選択肢のレビューを行う。 |
| 134 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 136 | BAI02.04 アクティビティ 1. | ビジネススポンサーまたはプロダクトオーナーが、ビジネスケースに基づいて、ソリューションの選択、調達方法、および概要設計に関して最終的な 意思決定を行うようにする 。影響を受けるステークホルダーからのフィードバックを検討し、提案されているアプローチに対して、適切な事業部門および技術面での権限者(たとえば、ビジネスプロセスオーナー、エンタープライズアーキテクチャ設計者、運用マネージャー、セキュリティ責任者)から承認を得る。 | ビジネススポンサーまたはプロダクトオーナーが、ビジネスケースに基づいて、ソリューションの選択、調達方法、および概要設計に関して最終的な 意思決定を行うことを確実にする 。影響を受けるステークホルダーからのフィードバックを検討し、提案されているアプローチに対して、適切な事業部門および技術面での権限者(たとえば、ビジネスプロセスオーナー、エンタープライズアーキテクチャ設計者、運用マネージャー、セキュリティ責任者)から承認を得る。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|---|---|---|
| 138 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 (注記なし) | | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 139 | BAI03.02 アウトプット(2番目) | 説明:SLA およびOLA 送付先:BAI04.02 | 説明:SLAとOLAの改訂版 送付先:APO09.03 BAI04.02 |
| 140 | BAI03.03アクティビティ 6. | …インフラストラクチャコンポーネントの開発および統合にあたる担当者がそれを理解することを保証する。… | …インフラストラクチャコンポーネントの開発および統合にあたる担当者がそれを理解することを確保する。… |
| 140 | BAI03.03マネジメントの実践手法 | 法律上、契約上のすべての要件が、サプライヤーによって特定され対応されることを保証する。 | 法律上、契約上のすべての要件が、サプライヤーによって特定され対応されることを確保する。 |
| 141 | BAI03.05 アクティビティ 6. | 裏付けとなるテスト(できれば自動化されたテスト)によって、ソリューションコンポーネントの相互運用性を確認する。 | 裏付けとなるテスト(できれば自動化されたテスト)によって、ソリューションコンポーネントの相互運用性を確実にする。 |
| 141 | BAI03.06 アウトプット(1番目) | QA 計画 | 品質保証計画 |
| 141 | BAI03.07アクティビティ 3. | …また本番環境でのソリューションの運用の評価を可能とするテスト手順を策定する。… | …また本番環境でのソリューションの運用の評価を可能とするテスト手続きを策定する。… |
| 141 | BAI03.07アクティビティ 3. | 計画および実践手法と整合し、また本番環境でのソリューションの運用の評価を可能とするテスト手順を策定する。このテスト手続きによって、役割、責任とテスト基準を定義する事業体の標準に照らしてコントロールの妥当性を評価すること、また、テスト手続きがプロジェクトのステークホルダーおよびスポンサー/ビジネスプロセスオーナーによって承認されていることを確認する。 | 計画および実践手法と整合し、また本番環境でのソリューションの運用の評価を可能とするテスト手続きを策定する。このテスト手続きによって、役割、責任とテスト基準を定義する事業体の標準に照らしてコントロールの妥当性を評価すること、また、テスト手続きがプロジェクトのステークホルダーおよびスポンサー/ビジネスプロセスオーナーによって承認されていることを確実にする。 |
| 142 | BAI03.08 アクティビティ 4. | テスト過程において、エラーの特定、記録、分類(軽度、重要、致命的など)を行う。重要なエラーがすべて解決されるまでテストを反復する。テスト結果の監査証跡が維持されていることを確認する。 | テスト過程において、エラーの特定、記録、分類(軽度、重要、致命的など)を行う。重要なエラーがすべて解決されるまでテストを反復する。テスト結果の監査証跡が維持されていることを確実にする。 |
| 142 | BAI03.09 アクティビティ 2. | 要件への変更を追跡し、すべてのステークホルダーが変更のモニタリング、レビュー、承認を行えるようにする。変更プロセスの結果が、すべてのステークホルダー、スポンサー/ビジネスプロセスオーナーにより完全に理解され、合意されていることを確認する。 | 要件への変更を追跡し、すべてのステークホルダーが変更のモニタリング、レビュー、承認を行えるようにする。変更プロセスの結果が、すべてのステークホルダー、スポンサー/ビジネスプロセスオーナーにより完全に理解され、合意されていることを確実にする。 |
| 142 | BAI03.10 アクティビティ 2. | 現在のソリューションの設計や機能、ビジネスプロセスに対して、提案されている保守のアクティビティの重要性を評価する。リスク、ユーザーへの影響、リソースの可用性を考慮する。ビジネスプロセスオーナーが指示した変更を保守として扱う場合の影響を理解していることを確認する。 | 現在のソリューションの設計や機能、ビジネスプロセスに対して、提案されている保守のアクティビティの重要性を評価する。リスク、ユーザーへの影響、リソースの可用性を考慮する。ビジネスプロセスオーナーが指示した変更を保守として扱う場合の影響を理解していることを確実にする。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|---|---|
| 143 | BAI03.11 アクティビティ 1. | 新規または変更するIT サービスの定義を提案し、サービスが目的に適合することを 確認する 。提案されたサービス定義を、構築するサービスのポートフォリオに記載する。 | 新規または変更するIT サービスの定義を提案し、サービスが目的に適合することを 確実にする 。提案されたサービス定義を、構築するサービスのポートフォリオに記載する。 |
| 143 | BAI03.11 アクティビティ 2. | 新規または変更するサービスレベルのオプション(サービス時間、ユーザーの満足度、可用性、性能、キャパシティ、セキュリティ、継続性、コンプライアンス、ユーザビリティ)を提案し、IT サービスが使用目的に適合していることを 確認する 。ポートフォリオにおいて提案されたサービスオプションの文書化を行う。 | 新規または変更するサービスレベルのオプション(サービス時間、ユーザーの満足度、可用性、性能、キャパシティ、セキュリティ、継続性、コンプライアンス、ユーザビリティ)を提案し、IT サービスが使用目的に適合していることを 確実にする 。ポートフォリオにおいて提案されたサービスオプションの文書化を行う。 |
| 146 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 146 | BAI04.01 マネジメントの実践手法 | サービスとリソースの可用性、性能、キャパシティを評価し、ビジネスニーズをサポートし、SLA を達成するためのコスト的に妥当なキャパシティと性能を 実現する 。将来の比較のために、可用性、性能、キャパシティのベースラインを作成する。 | サービスとリソースの可用性、性能、キャパシティを評価し、ビジネスニーズをサポートし、SLA を達成するためのコスト的に妥当なキャパシティと性能の 実現を確保する 。将来の比較のために、可用性、性能、キャパシティのベースラインを作成する。 |
| 147 | BAI04.02 マネジメントの実践手法 | 事業体にとって重要なサービスを特定し、サービスとリソースをビジネスプロセスに対応付け、ビジネスとの依存関係を特定する。利用できないリソースがある場合には、その影響が顧客によって合意され、受け入れられていることを 確認する 。重要なビジネス機能に関して、SLA の可用性要件を満たしていることを 確認する 。 | 事業体にとって重要なサービスを特定し、サービスとリソースをビジネスプロセスに対応付け、ビジネスとの依存関係を特定する。利用できないリソースがある場合には、その影響が顧客によって合意され、受け入れられていることを 確実にする 。重要なビジネス機能に関して、SLA の可用性要件を満たしていることを 確実にする 。 |
| 147 | BAI04.02 インプット(1番目) | 参照元: BAI03.02 説明 : SLA およびOLA | 参照元: APO09.03 説明 : SLA およびOLA |
| 147 | BAI04.02 インプット(2番目) | | 参照元: BAI03.02 説明 : SLAとOLAの改訂版 |
| 147 | BAI04.02 アクティビティ 7. | ビジネスプロセスオーナーが、この分析の結果を完全に理解し、合意していることを 確認する 。ビジネスオーナーから、リスクを許容可能なレベルに軽減するための対応を必要とするリスクシナリオのリストを入手する。 | ビジネスプロセスオーナーが、この分析の結果を完全に理解し、合意していることを 確実にする 。ビジネスオーナーから、リスクを許容可能なレベルに軽減するための対応を必要とするリスクシナリオのリストを入手する。 |
| 147 | BAI04.03 アクティビティ 5. | 経営層が、リソースに対する実際の需要と需給予想を比較して、現行の予測手法の評価を行い、 可能であれば改善を行うことを確認する 。 | 経営層が、リソースに対する実際の需要と需給予想を比較して、現行の予測手法の評価を行い、 可能な部分の改善を行うことを確実にする 。 |
| 148 | BAI04.04 マネジメントの実践手法 | BAI04.04 用性 とキャパシティのモニタリングとレビュー | BAI04.04 可用性 とキャパシティのモニタリングとレビュー |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|---|---|--|
| 148 | BAI04.04 マネジメントの実践手法 | 可用性、性能、キャパシティのモニタリング、測定、分析、報告、レビューを行う。設定されたベースラインからの逸脱を特定する。傾向分析の報告をレビューし、重要な問題と差異を特定し、必要であれば対応措置を講じ、すべての未解決の問題のフォローアップが行われていることを 確認 する。 | 可用性、性能、キャパシティのモニタリング、測定、分析、報告、レビューを行う。設定されたベースラインからの逸脱を特定する。傾向分析の報告をレビューし、重要な問題と差異を特定し、必要であれば対応措置を講じ、すべての未解決の問題のフォローアップが行われていることを 確実に する。 |
| 148 | BAI04.04 アウトプット(1番目) | 可用性、性能、キャパシティのモニタリングのレビュー、報告 | 可用性、性能、キャパシティの報告書 |
| 149 | 1行目 | BAI05 組織の 変更 実現性の管理 | BAI05 組織の 変革 実現性の管理 |
| 149 | プロセスの概要 | 変更 に関するライフサイクルの全体と影響を受けるビジネスとIT 領域のすべてのステークホルダーをカバーし、事業体の組織 変更 が迅速かつ低減されたリスクで適切に実施される可能性を最大限に高める。 | 変革 に関するライフサイクルの全体と影響を受けるビジネスとIT 領域のすべてのステークホルダーをカバーし、事業体の組織 変革 が迅速かつ低減されたリスクで適切に実施される可能性を最大限に高める。 |
| 149 | プロセス達成目標 1. | ステークホルダーの組織 変更 への期待を理解している。 | ステークホルダーの組織 変革 への期待を理解している。 |
| 149 | 関連する測定指標 1. | • ステークホルダーの 変更 への期待度 | • ステークホルダーの 変革 への期待度 |
| 149 | プロセス達成目標 2. | 導入チームが有能であり、 変更 を推進する能力がある。 | 導入チームが有能であり、 変革 を推進する能力がある。 |
| 149 | プロセス達成目標 3. | 要求された 変更 がステークホルダーによって理解され受け入れられている。 | 要求された 変革 がステークホルダーによって理解され受け入れられている。 |
| 149 | プロセス達成目標 4. | 役割を有する要員は、 変更 を実現する権限を与えられている。 | 役割を有する要員は、 変革 を実現する権限を与えられている。 |
| 149 | プロセス達成目標 5. | 役割を有する要員は、 変更 を運用、利用、維持する能力を習得させられている。 | 役割を有する要員は、 変革 を運用、利用、維持する能力を習得させられている。 |
| 149 | 関連する測定指標 5. | • 変更 を運用、利用、維持している、役割を有する要員の満足度 | • 変革 を運用、利用、維持している、役割を有する要員の満足度 |
| 149 | プロセス達成目標 6. | 変更 が定着し、持続している | 変革 が定着し、持続している |
| 149 | 関連する測定指標 6. | • 変更 に関する適切な研修を受けたユーザーの割合 • 変更 を採用したユーザーの満足度 | • 変革 に関する適切な研修を受けたユーザーの割合 • 変革 を採用したユーザーの満足度 |
| 150 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 (注記なし) | | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 150 | RACIチャートマネジメント実践手 | BAI05.01 変更 への期待の確 | BAI05.01 変革 への期待の確 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|---------------------|---|---|
| 150 | RACIチャートマネジメント実践手 | BAI05.07 変更の持続 | BAI05.07 変革の持続 |
| 150 | BAI05.01マネジメントの実践手法 | BAI05.01 変更への期待の確立 想定される変更活動の範囲と影響や、ステークホルダーの変更活動に対する準備態勢や意欲を把握する。ステークホルダーが変更活動を受け入れ、変更活動の成功を望むように動機付けるための措置を特定する。 | BAI05.01 変革への期待の確立 想定される変革活動の範囲と影響や、ステークホルダーの変革活動に対する準備態勢や意欲を把握する。ステークホルダーが変革活動を受け入れ、変革活動の成功を望むように動機付けるための措置を特定する。 |
| 150 | BAI05.01アウトプット | 変更の要因の周知 | 変革の要因の周知 |
| 150 | BAI05.01アウトプット | 変更にコミットしている経営幹部からの周知 | 変革にコミットしている経営幹部からの周知 |
| 150 | BAI05.01アクティビティ 1. | 想定される変更活動の範囲と影響、影響を受けるさまざまなステークホルダー、受ける影響の性質と各ステークホルダーグループに要求される関与レベル、変更活動にむけた現在の準備態勢と能力に対するアセスメントを行う。 | 想定される変革活動の範囲と影響、影響を受けるさまざまなステークホルダー、受ける影響の性質と各ステークホルダーグループに要求される関与レベル、変革活動にむけた現在の準備態勢と能力に対するアセスメントを行う。 |
| 150 | BAI05.01アクティビティ 2. | 変更活動への期待を確立する基盤として、… | 変革活動への期待を確立する基盤として、… |
| 150 | BAI05.01アクティビティ 3. | 執行委員会あるいはCEO から、変更活動に対するコミットメントに関して… | 執行委員会あるいはCEO から、変革活動に対するコミットメントに関して… |
| 150 | BAI05.01アクティビティ 4. | …ステークホルダーが変更を望むように仕向け、動機付け、啓発を行う。 | …ステークホルダーが変革を望むように仕向け、動機付け、啓発を行う。 |
| 151 | BAI05.02アクティビティ 1. | …コアチームが協力してビジョンをサポートし、変更を段階的に展開するための潜在的な変革推進者を事業体の異なる部署より特定する。 | …コアチームが協力してビジョンをサポートし、変革を段階的に展開するための潜在的な変革推進者を事業体の異なる部署より特定する。 |
| 151 | BAI05.03マネジメントの実践手法 | 変更の影響を受ける人々が理解できる用語を用いて、目標ビジョンを周知する。この伝達は上級マネジメント層が行い、変更の根拠と効果、変更を行わない場合の影響、… | 変革の影響を受ける人々が理解できる用語を用いて、目標ビジョンを周知する。この伝達は上級マネジメント層が行い、変革の根拠と効果、変革を行わない場合の影響、… |
| 151 | BAI05.04マネジメントの実践手法 | …実現可能であり、変更実現可能性の視点から重要である短期的成果の特定と周知を行う。 | …実現可能であり、変革実現可能性の視点から重要である短期的成果の特定と周知を行う。 |
| 151 | BAI05.04アクティビティ 4. | 必要となる変更に抵抗を続けているリーダーを特定し、管理する。 | 必要となる変革に抵抗を続けているリーダーを特定し、管理する。 |
| 152 | BAI05.05アクティビティ 1. | 実現した変更の運用と利用の計画を策定する。この計画は実現した迅速な成果を周知、構築し、行動面や文化面でのより広い範囲の進化に触れ、支持や関与を高めるものである。この計画では、変更の包括的な全体像がカバーされており、… | 実現した変革の運用と利用の計画を策定する。この計画は実現した迅速な成果を周知、構築し、行動面や文化面でのより広い範囲の進化に触れ、支持や関与を高めるものである。この計画では、変革の包括的な全体像がカバーされており、… |
| 152 | BAI05.05アクティビティ 1. | …強化された実稼働直後のサポートおよび継続的なサポートが提供されることを保証する。 | …強化された実稼働直後のサポートおよび継続的なサポートが提供されることを確保する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|---|--|
| 152 | BAI05.05アクティビティ 2. | 運用と利用の計画を実施する。人々が 変更 についてどう感じるかを示すような、… | 運用と利用の計画を実施する。人々が 変革 についてどう感じるかを示すような、… |
| 152 | BAI05.06マネジメントの実践手法 | 導入された 変更 の追跡、運用と利用に関する計画の有効性の評価、… | 導入された 変革 の追跡、運用と利用に関する計画の有効性の評価、… |
| 152 | BAI05.06アクティビティ 1. | 成功を祝い、 変更 を補強するために報酬/ 表彰制度を導入する。 | 成功を祝い、 変革 を補強するために報酬/ 表彰制度を導入する。 |
| 152 | BAI05.06アクティビティ 5. | 変更 とその適用に関する定期的なコミュニケーションにより、継続的な啓発を行う。 | 変革 とその適用に関する定期的なコミュニケーションにより、継続的な啓発を行う。 |
| 152 | BAI05.07マネジメントの実践手法 | BAI05.07 変更 の持続 新規スタッフの効果的な研修、継続的なコミュニケーションキャンペーン、幹部経営層の継続的なコミットメント、モニタリングの適用、事業体全体での教訓の共有によって、 変更 を持続する。 | BAI05.07 変革 の持続 新規スタッフの効果的な研修、継続的なコミュニケーションキャンペーン、幹部経営層の継続的なコミットメント、モニタリングの適用、事業体全体での教訓の共有によって、 変革 を持続する。 |
| 152 | BAI05.07アクティビティ 1. | 新規スタッフに指導、研修、コーチング、ナレッジトランスファーを提供し、 変更 を持続する。 | 新規スタッフに指導、研修、コーチング、ナレッジトランスファーを提供し、 変革 を持続する。 |
| 152 | BAI05.07アクティビティ 2. | 経営幹部のコミットメントを示す定期的なコミュニケーションによって、 変更 を持続、補強する。 | 経営幹部のコミットメントを示す定期的なコミュニケーションによって、 変革 を持続、補強する。 |
| 152 | BAI05.07アクティビティ 3. | 変更 の運用と利用に対して定期的なレビューを行い、改善点を特定する。 | 変革 の運用と利用に対して定期的なレビューを行い、改善点を特定する。 |
| 152 | BAI05.07アクティビティ 4. | 変更 の導入に関連して得られた教訓を記録し、事業体全体で知識を共有する。 | 変革 の導入に関連して得られた教訓を記録し、事業体全体で知識を共有する。 |
| 153 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 154 | BAI06.01マネジメントの実践手法 | すべての変更の要求を評価し、ビジネスプロセスとIT サービスへの影響を判断する。また、変更が運用環境に悪影響を及ぼし、許容できないリスクをもたらすかどうか評価する。変更の記録、優先順位付け、分類、評価、承認、計画、スケジュール策定が行われていることを 確認 する。 | すべての変更の要求を評価し、ビジネスプロセスとIT サービスへの影響を判断する。また、変更が運用環境に悪影響を及ぼし、許容できないリスクをもたらすかどうか評価する。変更の記録、優先順位付け、分類、評価、承認、計画、スケジュール策定が行われていることを 確実に する。 |
| 154 | BAI06.02マネジメントの実践手法 | 緊急変更を管理 し、さらなるインシデントを最小限に抑え、変更がコントロールされ安全に導入されることを 保証 する。 | さらなるインシデントを最小限に抑え、変更がコントロールされ安全に導入されることを 確認 するため、 緊急変更を管理 する。 |
| 154 | BAI06.02 アクティビティ 1. | 緊急変更の申告、評価、暫定承認、変更後の承認、記録に関して文書化された手続きが存在することを 確認 する。 | 緊急変更の申告、評価、暫定承認、変更後の承認、記録に関して文書化された手続きが存在することを 確実に する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|---|---|
| 155 | BAI06.03 アクティビティ 2. | 変更のステータス報告プロセスと成果測定指標の導入を行う。これにより、変更の詳細なステータスと全般的なステータス(たとえば、変更要求の経過時間分析)の両方について経営層によるレビューおよびモニタリングを可能とする。変更の開始から実際に終了するまで連続的に追跡が可能となるように、ステータス報告が監査証跡となることを 確認する 。 | 変更のステータス報告プロセスと成果測定指標の導入を行う。これにより、変更の詳細なステータスと全般的なステータス(たとえば、変更要求の経過時間分析)の両方について経営層によるレビューおよびモニタリングを可能とする。変更の開始から実際に終了するまで連続的に追跡が可能となるように、ステータス報告が監査証跡となることを 確実にする 。 |
| 155 | BAI06.03 アクティビティ 3. | 未完了の変更をモニタリングして、すべての承認済の変更が優先順位に応じてタイムリーに 終了するようにする 。 | 未完了の変更をモニタリングして、すべての承認済の変更が優先順位に応じてタイムリーに 終了することを確実にする 。 |
| 158 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 158 | BAI07.01 アクティビティ 5. | 導入に関わる技術的リスクとビジネスリスクを正式にレビューし、計画プロセスにおいて主要なリスクが確実に考慮され、 対処されるようにする 。 | 導入に関わる技術的リスクとビジネスリスクを正式にレビューし、計画プロセスにおいて主要なリスクが確実に考慮され、 確実に対処されるようにする 。 |
| 159 | BAI07.02 アクティビティ 8. | すべてのシステムとデータについて、移行前の時点をバックアップする計画を策定する。遡って調べることができるように監査証跡を維持し、移行が失敗した場合には、移行のロールバックと、移行以前の処理へのフォールバックを含む復旧計画を 準備しておく 。 | すべてのシステムとデータについて、移行前の時点をバックアップする計画を策定する。遡って調べることができるように監査証跡を維持し、移行が失敗した場合には、移行のロールバックと、移行以前の処理へのフォールバックを含む復旧計画を 確実に準備する 。 |
| 159 | BAI07.03 マネジメントの実践手法 | …テスト計画は関係者からの承認を得ることを 保証 する。 | …テスト計画は関係者からの承認を得ることを 確保 する。 |
| 159 | BAI07.03 アクティビティ 2. | テスト計画にプロジェクトからのリスクに対するアセスメントが反映されており、すべての機能的、技術的要件がテストされることを 確認する 。システム障害や導入失敗のリスクアセスメントに基づいて、テスト計画には、性能、ストレス、ユーザビリティ、パイロットおよびセキュリティテストの要件を含める。 | テスト計画にプロジェクトからのリスクに対するアセスメントが反映されており、すべての機能的、技術的要件がテストされることを 確実にする 。システム障害や導入失敗のリスクアセスメントに基づいて、テスト計画には、性能、ストレス、ユーザビリティ、パイロットおよびセキュリティテストの要件を含める。 |
| 159 | BAI07.03 アクティビティ 3. | テスト計画において、テストプロセスの結果に対する内部または外部認定の潜在的な必要性(たとえば、財務上の規制要件)が考慮されていることを 確認する 。 | テスト計画において、テストプロセスの結果に対する内部または外部認定の潜在的な必要性(たとえば、財務上の規制要件)が考慮されていることを 確実にする 。 |
| 159 | BAI07.03 アクティビティ 4. | テスト計画においてテストの実行と結果の評価に必要なリソースが特定されていることを 確認する 。リソースの例には、テスト環境の構築とテストグループのためのスタッフの時間がある。これには、本番環境または開発環境でのテストスタッフの一時的な交代も含まれる。テスト計画におけるリソースへの影響に関して、ステークホルダーと協議されていることを 確認する 。 | テスト計画においてテストの実行と結果の評価に必要なリソースが特定されていることを 確実にする 。リソースの例には、テスト環境の構築とテストグループのためのスタッフの時間がある。これには、本番環境または開発環境でのテストスタッフの一時的な交代も含まれる。テスト計画におけるリソースへの影響に関して、ステークホルダーと協議されていることを 確実にする 。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|----------------------|--|---|
| 159 | BAI07.03 アクティビティ 5. | テスト計画において、運用要件や運用環境に適合した各テストフェーズが明確になっていることを 確認する 。テストのフェーズの例には、単体テスト、システムテスト、統合テスト、ユーザー受け入れテスト、性能テスト、ストレステスト、データ移行テスト、セキュリティテスト、運用移管テスト、バックアップおよび復旧のテストなどがある。 | テスト計画において、運用要件や運用環境に適合した各テストフェーズが明確になっていることを 確実にする 。テストのフェーズの例には、単体テスト、システムテスト、統合テスト、ユーザー受け入れテスト、性能テスト、ストレステスト、データ移行テスト、セキュリティテスト、運用移管テスト、バックアップおよび復旧のテストなどがある。 |
| 159 | BAI07.03 アクティビティ 7. | テスト計画において、各々のテストフェーズの結果を判定する明確な基準が確立されていることを 確認する 。判定基準の定義に関しては、ビジネスプロセスオーナーおよびIT 部門のステークホルダーと協議を行う。テスト計画において、判定基準が満たされなかった場合の是正手続きが確立されていることを確認する(たとえば、テストフェーズにおける重大な障害の場合、計画において、次のフェーズに進むか、テストを中止するか、導入を延期するかなどの指針が規定されている)。 | テスト計画において、各々のテストフェーズの結果を判定する明確な基準が確立されていることを 確実にする 。判定基準の定義に関しては、ビジネスプロセスオーナーおよびIT 部門のステークホルダーと協議を行う。テスト計画において、判定基準が満たされなかった場合の是正手続きが確立されていることを確認する(たとえば、テストフェーズにおける重大な障害の場合、計画において、次のフェーズに進むか、テストを中止するか、導入を延期するかなどの指針が規定されている)。 |
| 160 | BAI07.04 アクティビティ 4. | テスト環境が将来のビジネスおよび運用環境(本番環境で見られる、ビジネスプロセスの手続きと役割、想定される稼働負荷のストレス、オペレーティングシステム、必要なアプリケーションソフトウェア、データベース管理システム、ネットワークとコンピュータのインフラストラクチャなどを含む)をふまえていることを 確認する 。 | テスト環境が将来のビジネスおよび運用環境(本番環境で見られる、ビジネスプロセスの手続きと役割、想定される稼働負荷のストレス、オペレーティングシステム、必要なアプリケーションソフトウェア、データベース管理システム、ネットワークとコンピュータのインフラストラクチャなどを含む)をふまえていることを 確実にする 。 |
| 160 | BAI07.04 アクティビティ 5. | テスト環境の安全が確保されており、本番システムとの連携が不可能であることを 確認する 。 | テスト環境の安全が確保されており、本番システムとの連携が不可能であることを 確実にする 。 |
| 160 | BAI07.05 アクティビティ 4. | 変更テストがテスト計画に従って実施されていることを 確認する 。開発チームから独立したテストグループによってテストの設計と実施が 行われるようにする 。テストグループへのビジネスプロセスオーナーとエンドユーザーの関与の度合いを検討する。テストは必ずテスト環境内でのみ行う。 | 変更テストがテスト計画に従って実施されていることを 確実にする 。開発チームから独立したテストグループによってテストの設計と実施が 行われることを確実にする 。テストグループへのビジネスプロセスオーナーとエンドユーザーの関与の度合いを検討する。テストは必ずテスト環境内でのみ行う。 |
| 160 | BAI07.05 アクティビティ 5. | テストと想定される結果が、テスト計画で規定されている判定基準と整合したものであることを 確認する 。 | テストと想定される結果が、テスト計画で規定されている判定基準と整合したものであることを 確実にする 。 |
| 160 | BAI07.05 アクティビティ 6. | テストの実施では、明確に定義されたテスト手順(スクリプト)の使用を考慮する。独立したテストグループが各々のテストスクリプトを評価、承認し、それがテスト計画で規定されたテストの判定基準に対応していることを 確認する 。システムがどの程度セキュリティ要件を満たしているかを検証するために、スクリプトを使用することを検討する。 | テストの実施では、明確に定義されたテスト手順(スクリプト)の使用を考慮する。独立したテストグループが各々のテストスクリプトを評価、承認し、それがテスト計画で規定されたテストの判定基準に対応していることを 確実にする 。システムがどの程度セキュリティ要件を満たしているかを検証するために、スクリプトを使用することを検討する。 |
| 160 | BAI07.05 アクティビティ 10. | テストの実施に当たっては、テスト計画のフォールバックとロールバックの要素が考慮されていることを 確認する 。 | テストの実施に当たっては、テスト計画のフォールバックとロールバックの要素が考慮されていることを 確実にする 。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|---|---|--|
| 160 | BAI07.05 アクティビティ 11. | テストの過程において、エラーの特定、記録、分類(軽度、重要、致命的など)を行う。テスト結果の監査証跡が入手可能であることを 確認する 。バグの修正とさらなる品質改善を可能とするために、テスト計画に従ってステークホルダーにテスト結果を伝達する。 | テストの過程において、エラーの特定、記録、分類(軽度、重要、致命的など)を行う。テスト結果の監査証跡が入手可能であることを 確実にする 。バグの修正とさらなる品質改善を可能とするために、テスト計画に従ってステークホルダーにテスト結果を伝達する。 |
| 161 | BAI07.06アクティビティ 4. | すべてのメディアライブラリが、テストから本番環境に移行されるソリューションコンポーネントのバージョンで速やかにアップデートされることを 確認する 。既存バージョンとそのサポート文書をアーカイブする。システム、アプリケーションソフトウェア、インフラストラクチャの本番環境への移行は構成管理の下にあることを 確認する 。 | すべてのメディアライブラリが、テストから本番環境に移行されるソリューションコンポーネントのバージョンで速やかにアップデートされることを 確実にする 。既存バージョンとそのサポート文書をアーカイブする。システム、アプリケーションソフトウェア、インフラストラクチャの本番環境への移行は構成管理の下にあることを 確実にする 。 |
| 161 | BAI07.06アクティビティ 5. | …そして承認され正しく識別された配布先にのみ配布が行われることが 保証 されるように、… | …そして承認され正しく識別された配布先にのみ配布が行われることが 確保 されるように、… |
| 162 | BAI07.08アクティビティ 1. | 導入後レビューによって以下の 事項 が特定、評価、報告されるように手続きを 確立する ： | 導入後レビューによって以下の 事項 が 確実に 特定、評価、報告されるように手続きを 確立する 。 |
| 162 | BAI07.08アクティビティ 3. | …ビジネスプロセスオーナーと、必要に応じて第三者の関与させる。 | …ビジネスプロセスオーナーと、必要に応じて第三者 に 関与させる。 |
| 163 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 (注記なし) | | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 164 | BAI08.04アウトプット | 知識 ユーザ データベース | 知識 ユーザー データベース |
| 167 | BAI09 プロセスの概要 | ライフサイクル全体を通じてIT 資産を管理し、その利用による価値を最適なコストで提供していること、また依然として運用可能である(目的に適合している)こと、所在が確認されており物理的に保護されていること、そしてサービス能力をサポートする重要な資産が信頼でき利用可能であることを 確実にする 。ソフトウェアライセンスを管理して、ビジネス上の要件との関係で最適な数量が購入、維持、配備されており、またインストールされたソフトウェアがライセンス契約を遵守していることを 確認する 。 | ライフサイクル全体を通じてIT 資産を管理し、その利用による価値を最適なコストで提供していること、また依然として運用可能である(目的に適合している)こと、所在が確認されており物理的に保護されていること、そしてサービス能力をサポートする重要な資産が信頼でき利用可能であることを 確実にする 。ソフトウェアライセンスを管理して、ビジネス上の要件との関係で最適な数量が購入、維持、配備されており、またインストールされたソフトウェアがライセンス契約を遵守していることを 確実にする 。 |
| 167 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 (注記なし) | | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|--|---|
| 168 | BAI09.01 マネジメントの実践手法 | サービスの提供に必要なすべてのIT 資産の最新で正確な記録を維持する。構成管理および財務管理との整合性を 確認 する。 | サービスの提供に必要なすべてのIT 資産の最新で正確な記録を維持する。構成管理および財務管理との整合性を 確実に する。 |
| 168 | BAI09.01 アクティビティ 6. | すべての資産の会計処理を 確認 する。 | すべての資産の会計処理を 確実に する。 |
| 168 | BAI09.02 アクティビティ 8. | リモートアクセスサービスとユーザープロファイル(または、保守もしくは診断に使用される他の手段)が有効化されるのは、必要な場合に限定されることを 確認 する。 | リモートアクセスサービスとユーザープロファイル(または、保守もしくは診断に使用される他の手段)が有効化されるのは、必要な場合に限定されることを 確実に する。 |
| 169 | BAI09.03 マネジメントの実践手法 | …また所在が確認され、物理的に保護されることを 保証 する。 | …また所在が確認され、物理的に保護されることを 確保 する。 |
| 169 | BAI09.03 アウトプット(2番目) | 更新された資産台帳 | 資産台帳の改定版 |
| 171 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 172 | BAI10.03 インプット(3番目の2項目目) | 更新された資産台帳 | 資産台帳の改定版 |
| 172 | BAI10.03 アクティビティ 2. | 構成管理アイテムへの変更提案をベースラインと比較の上レビューし、網羅性と正確性を 保証 する。 | 構成管理アイテムへの変更提案をベースラインと比較の上レビューし、網羅性と正確性を 確保 する。 |
| 177 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 178 | DSS01.01 アクティビティ 3. | 処理すべきデータすべてが、完全かつ正確に、しかも遅延なく受信・処理されていることを検証する。出力データを事業体の要件に従って提供する。再開と再処理のニーズをサポートする。ユーザーが安全かつタイムリーに正しい出力データを受信していることを 確認 する。 | 処理すべきデータすべてが、完全かつ正確に、しかも遅延なく受信・処理されていることを検証する。出力データを事業体の要件に従って提供する。再開と再処理のニーズをサポートする。ユーザーが安全かつタイムリーに正しい出力データを受信していることを 確実に する。 |
| 178 | DSS01.01 アクティビティ 4. | 事業体の目標、事業体のセキュリティポリシー、規制要件が 満たされるように 、適切なセキュリティ標準をデータの受信や処理、保管、出力に適用する。 | 事業体の目標、事業体のセキュリティポリシー、規制要件が 確実に満たされるように 、適切なセキュリティ標準をデータの受信や処理、保管、出力に適用する。 |
| 178 | DSS01.03 アクティビティ 6. | モニタリングにより、定義されたしきい値からの逸脱が確認された場合には、速やかにインシデント情報が 生成されるように する。 | モニタリングにより、定義されたしきい値からの逸脱が確認された場合には、速やかにインシデント情報が 作成されることを確実に する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|---|--|
| 179 | DSS01.04 アクティビティ 2. | モバイルおよびオフサイトの機器を含むIT 機器が、環境の脅威からどのように保護されているか識別する。注意を要するエリアでの飲食や喫煙がポリシーによって制限または禁止されており、コンピュータ室内に事務用品やその他の火災の危険のある備品の保管が禁止されていることを 確認する 。 | モバイルおよびオフサイトの機器を含むIT 機器が、環境の脅威からどのように保護されているか識別する。注意を要するエリアでの飲食や喫煙がポリシーによって制限または禁止されており、コンピュータ室内に事務用品やその他の火災の危険のある備品の保管が禁止されていることを 確実にする 。 |
| 179 | DSS01.04 アクティビティ 7. | IT 拠点が、環境リスク(盗難、外気、火災、煙、水、震動、テロ、破壊行為、化学物質、爆発物など)の影響を最小化するように設計、建設されていることを 確認する 。特別なセキュリティゾーンや耐火隔室にすることを検討する(たとえば、本番と開発の環境/ サーバを互いに離れた位置に配置する)。 | IT 拠点が、環境リスク(盗難、外気、火災、煙、水、震動、テロ、破壊行為、化学物質、爆発物など)の影響を最小化するように設計、建設されていることを 確実にする 。特別なセキュリティゾーンや耐火隔室にすることを検討する(たとえば、本番と開発の環境/ サーバを互いに離れた位置に配置する)。 |
| 179 | DSS01.05 アクティビティ 2. | 無停電電源設備を定期的にテストし、事業運営に重大な影響を及ぼすことなく電源の切り替えが可能であることを 確認する 。 | 無停電電源設備を定期的にテストし、事業運営に重大な影響を及ぼすことなく電源の切り替えが可能であることを 確実にする 。 |
| 179 | DSS01.05 アクティビティ 5. | (データと電話の)配線と接続が整備され、体系化されていることを 確認する 。ケーブル配線と導管の構造は文書化する(たとえば、建設計画の青写真と配線図)。 | (データと電話の)配線と接続が整備され、体系化されていることを 確実にする 。ケーブル配線と導管の構造は文書化する(たとえば、建設計画の青写真と配線図)。 |
| 179 | DSS01.05 アクティビティ 7. | IT 拠点と施設が、関連する安全衛生に関する法律、規制、ガイドライン、およびベンダー仕様に継続的に準拠していることを 確認する 。 | IT 拠点と施設が、関連する安全衛生に関する法律、規制、ガイドライン、およびベンダー仕様に継続的に準拠していることを 確実にする 。 |
| 182 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 182 | DSS02.01 アクティビティ 1. | インシデントとサービス要求の分類、問題の登録のための優先順位付けの体系や基準を定義し、問題への対処、ユーザーへの通知、傾向分析を一貫したアプローチで 行えるようにする 。 | インシデントとサービス要求の分類、問題の登録のための優先順位付けの体系や基準を定義し、問題への対処、ユーザーへの通知、傾向分析を一貫したアプローチで 確実に行えるようにする 。 |
| 186 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 186 | DSS03.01 アクティビティ 4. | …合意されたSLA に従ってタイムリーに行われることを 保証 するために、… | …合意されたSLA に従ってタイムリーに行われることを 確保 するために、… |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|---|---|--|
| 190 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 (注記なし) | | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 191 | DSS04.03アクティビティ 3. | 主要サプライヤーと外部委託先が有効な継続計画を整備していることを 確認 する。必要に応じて監査済の証拠を入手する。 | 主要サプライヤーと外部委託先が有効な継続計画を整備していることを 確実に する。必要に応じて監査済の証拠を入手する。 |
| 192 | DSS04.05マネジメントの実践手法 | 継続能力の適応性、妥当性と有効性を 確認 するために、継続能力に対する経営層によるレビューを定期的実施する。継続計画の内容が常に最新に保たれ、実際のビジネス要件が反映されることを 確実に するために、変更統制プロセスに従って計画変更を管理する。 | 継続能力の適応性、妥当性と有効性を 確実に するために、継続能力に対する経営層によるレビューを定期的実施する。継続計画の内容が常に最新に保たれ、実際のビジネス要件が反映されることを 確実に するために、変更統制プロセスに従って計画変更を管理する。 |
| 192 | DSS04.06アクティビティ 1. | 継続計画策定、影響のアセスメント、リスクアセスメント、メディア対応、インシデント対応の担当者への要件と研修の計画を定義し、維持する。研修計画は、頻度と実施の仕組みを 考慮 するようにする。 | 継続計画策定、影響のアセスメント、リスクアセスメント、メディア対応、インシデント対応の担当者への要件と研修の計画を定義し、維持する。研修計画は、頻度と実施の仕組みを 確実に考慮 する。 |
| 193 | DSS04.07アクティビティ 1. | システム、アプリケーション、データ、ドキュメントを、定められたスケジュールに従ってバックアップする。バックアップに関しては以下を 考慮 する: | システム、アプリケーション、データ、ドキュメントを、定められたスケジュールに従ってバックアップする。バックアップに関しては以下を 考慮 する。 |
| 193 | DSS04.07アクティビティ 1. | ・重要なエンド ユーザ コンピューティングのデータ(たとえば、スプレッドシート) | ・重要なエンド ユーザー コンピューティングのデータ(たとえば、スプレッドシート) |
| 193 | DSS04.07アクティビティ 2. | 第三者によって保守または処理されているシステム、アプリケーション、データ、ドキュメントが適切にバックアップされているか、他の手段によって保護されていることを 確認 する。第三者からのバックアップのリターンを要求することを検討する。エスクローまたはデポジットの仕組みを検討する。 | 第三者によって保守または処理されているシステム、アプリケーション、データ、ドキュメントが適切にバックアップされているか、他の手段によって保護されていることを 確実に する。第三者からのバックアップのリターンを要求することを検討する。エスクローまたはデポジットの仕組みを検討する。 |
| 195 | 関連する測定指標 3. | ・アカウント数(許可された ユーザ /スタッフ数に対する) | ・アカウント数(許可された ユーザー /スタッフ数に対する) |
| 196 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 (注記なし) | | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 197 | DSS05.03 マネジメントの実践手法 | 端末(たとえば、ラップトップ、デスクトップ、サーバ、その他のモバイル機器やネットワーク機器またはソフトウェア)が、処理、保存または送信する情報に対して定義されたセキュリティ要件と同等またはそれを上回るレベルで保護されていることを 確認 する。 | 端末(たとえば、ラップトップ、デスクトップ、サーバ、その他のモバイル機器やネットワーク機器またはソフトウェア)が、処理、保存または送信する情報に対して定義されたセキュリティ要件と同等またはそれを上回るレベルで保護されていることを 確実に する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|----------------------|--|--|
| 198 | DSS05.04 マネジメントの実践手法 | すべてのユーザーが各々のビジネス要件に応じた情報へのアクセス権を与えられていることを 確認し 、ビジネスプロセス内で固有のアクセス権を持つ事業部門との調整を行う。 | すべてのユーザーが各々のビジネス要件に応じた情報へのアクセス権を与えられていることを 確実にし 、ビジネスプロセス内で固有のアクセス権を持つ事業部門との調整を行う。 |
| 198 | DSS05.04 アクティビティ 2. | 機能的な役割によってすべての情報処理アクティビティを一意に識別する。また事業部門と調整を行い、すべての役割を統合的に定義する。すべての役割には、ビジネスプロセスのアプリケーション内でビジネスそのものが定義する役割を含む。 | ビジネスプロセスのアプリケーション内でビジネスそのものが定義する役割を含むすべての役割を統合的に定義することを確実にするため、機能的な役割によってすべての情報処理アクティビティを一意に識別し、事業部門と調整を行う。 |
| 198 | DSS05.04アクティビティ 3. | …認証のコントロールが適切に管理されていることを 保証 する。 | …認証のコントロールが適切に管理されていることを 確保 する。 |
| 198 | DSS05.04アクティビティ 7. | すべての ユーザ (内部、外部、臨時)とそのIT システム上でのアクティビティ… | すべての ユーザー (内部、外部、臨時)とそのIT システム上でのアクティビティ… |
| 198 | DSS05.04 アクティビティ 7. | すべてのユーザ(内部、外部、臨時)とそのIT システム上でのアクティビティ(ビジネスアプリケーション、IT インフラストラクチャ、システム運用、開発、保守)が一意に特定可能であることを 確認する 。ユーザーによるすべての情報処理アクティビティをユーザーで一意に識別する。 | すべてのユーザー(内部、外部、臨時)とそのIT システム上でのアクティビティ(ビジネスアプリケーション、IT インフラストラクチャ、システム運用、開発、保守)が一意に特定可能であることを 確実にする 。ユーザーによるすべての情報処理アクティビティをユーザーで一意に識別する。 |
| 198 | DSS05.05 アクティビティ 2. | アクセスプロファイルが最新状態に維持されていることを 確認する 。IT 拠点(サーバールーム、建物、エリアあるいはゾーン)へのアクセス権は職務と責任に基づいて決定する。 | アクセスプロファイルが最新状態に維持されていることを 確実にする 。IT 拠点(サーバールーム、建物、エリアあるいはゾーン)へのアクセス権は職務と責任に基づいて決定する。 |
| 198 | DSS05.05 アクティビティ 6. | 機密性の高いIT 拠点では、フェンス、壁、内外のドアのセキュリティ機器などにより境界を設けることでアクセスを制限する。機器によって立ち入りが記録され、未承認のアクセスの場合には警報が鳴ることを 確認する 。このような機器の例には、バッ | 機密性の高いIT 拠点では、フェンス、壁、内外のドアのセキュリティ機器などにより境界を設けることでアクセスを制限する。機器によって立ち入りが記録され、未承認のアクセスの場合には警報が鳴ることを 確実にする 。このような機器の例には、バッ |
| 199 | DSS05.07 マネジメントの実践手法 | 侵入検知ツールを使用して、インフラストラクチャへの不正アクセスをモニタリングし、すべてのイベントが全般的なイベントモニタリングおよびインシデント管理と統合されていることを 確認する 。 | 侵入検知ツールを使用して、インフラストラクチャへの不正アクセスをモニタリングし、すべてのイベントが全般的なイベントモニタリングおよびインシデント管理と統合されていることを 確実にする 。 |
| 199 | DSS05.07 アクティビティ 4. | 現地の法的証拠のルールに沿った証拠収集の手続きを維持し、すべてのスタッフにその要件を 意識させる 。 | 現地の法的証拠のルールに沿った証拠収集の手続きを維持し、すべてのスタッフにその要件を 確実に意識させる 。 |
| 199 | DSS05.07 アクティビティ 5. | モニタリングにより潜在的なセキュリティインシデントが識別された場合には、セキュリティインシデント情報が速やかに生成されることを 確認する 。 | モニタリングにより潜在的なセキュリティインシデントが識別された場合には、セキュリティインシデント情報が速やかに生成されることを 確実にする 。 |
| 201 | プロセスの概要 | …情報と情報処理がこれらの要件を満たすことを 保証 するために、適切なコントロールの管理と運用を行う。 | …情報と情報処理がこれらの要件を満たすことを 確保 するために、適切なコントロールの管理と運用を行う。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|---|---|--|
| 201 | プロセスの概要 | 適切なビジネスプロセスコントロールを定義し、維持することで、社内およびアウトソースされたビジネスプロセスに関連する、あるいは処理される情報が、関連する情報コントロール要件を すべて満たすようにする 。そのような関連する情報コントロール要件を識別し、情報と情報処理がこれらの要件を満たすことを保証するために、適切なコントロールの管理と運用を行う。 | 適切なビジネスプロセスコントロールを定義し、維持することで、社内およびアウトソースされたビジネスプロセスに関連する、あるいは処理される情報が、関連する情報コントロール要件を すべて確実にすべて満たすようにする 。そのような関連する情報コントロール要件を識別し、情報と情報処理がこれらの要件を満たすことを 確保 するために、適切なコントロールの管理と運用を行う。 |
| 202 | DSS06 RACI チャート マネジメントの実践手法 (5番目) | DSS06.05 情報イベントと責任の追跡可能性 | DSS06.05 情報イベントと説明責任のトレーサビリティの確保 |
| 202 | DSS06 RACI チャート マネジメントの実践手法 (6番目) | DSS06.06 情報処理と説明責任のトレーサビリティの確保 | DSS06.06 情報資産の安全確保 |
| 202 | プロセス実践手法、 インプット/アウトプットおよび アクティビティの前 | (注記なし) | 注:一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 202 | DSS06.01 マネジメントの実践手法 | 事業体のリスクに基づいて、ビジネスプロセスのアクティビティおよび関連するコントロールの実施状況を継続的に評価、モニタリングし、プロセスコントロールがビジネスニーズと整合していることを 確認 する。 | 事業体のリスクに基づいて、ビジネスプロセスのアクティビティおよび関連するコントロールの実施状況を継続的に評価、モニタリングし、プロセスコントロールがビジネスニーズと整合していることを 確実に する。 |
| 202 | DSS06.01 アクティビティ 3. | キーコントロールとなる統制活動のオーナーシップを 確認 する。 | キーコントロールとなる統制活動のオーナーシップを 確実に する。 |
| 203 | DSS06.02 マネジメントの実践手法 | …安全性(すなわち、合法かつ承認された適切なビジネス利用を反映していること)を 保証 する。 | …安全性(すなわち、合法かつ承認された適切なビジネス利用を反映していること)を 確保 する。 |
| 203 | DSS06.02 アクティビティ 5. | 処理サイクルを通じて、データの完全性と妥当性を維持する。誤りのあるトランザクションが検出されても、有効なトランザクションの処理が 中断されないようにする 。 | 処理サイクルを通じて、データの完全性と妥当性を維持する。誤りのあるトランザクションが検出されても、有効なトランザクションの処理が 中断されないことを確実に する。 |
| 203 | DSS06.03 アクティビティ 3. | 予め定義された職務上の役割に基づいて職務を果たす際の必要性に基づいて、ユーザーのアクセス権および特権を割り当てる。職務上の役割の変更やスタッフがそのビジネスプロセスの担当から離れるような場合には、直ちにアクセス権を削除または修正する。現在の脅威、リスク、技術とビジネスの必要性を考慮して、アクセスが適切であることかどうか定期的にレビューを行い 確認 する。 | 予め定義された職務上の役割に基づいて職務を果たす際の必要性に基づいて、ユーザーのアクセス権および特権を割り当てる。職務上の役割の変更やスタッフがそのビジネスプロセスの担当から離れるような場合には、直ちにアクセス権を削除または修正する。現在の脅威、リスク、技術とビジネスの必要性を考慮して、アクセスが適切であることかどうか定期的にレビューを行い 確実に する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------------|--|---|
| 203 | DSS06.03 アクティビティ 6. | 定期的にアクセス制御の定義、ログ、例外報告をレビューして、すべてのアクセス権限が妥当で、現在のスタッフおよびスタッフに割り当てられた役割と整合していることを 確認する 。 | 定期的にアクセス制御の定義、ログ、例外報告をレビューして、すべてのアクセス権限が妥当で、現在のスタッフおよびスタッフに割り当てられた役割と整合していることを 確実にする 。 |
| 204 | DSS06.05 マネジメントの実践手法 | DSS06.05 情報処理 と説明責任のトレーサビリティの確保 ビジネスに関する情報から、元となるビジネスイベント、および責任を持つ当事者まで遡ることが できるようにする 。これによって、情報のライフサイクルと関連プロセス全体を通じて、情報の追跡が可能となる。また、ビジネスを推進する情報の信頼性と、その情報が定められた目標に従って処理されていることを保証する。 | DSS06.05 情報イベント と説明責任のトレーサビリティの確保 ビジネスに関する情報から、元となるビジネスイベント、および責任を持つ当事者まで遡ることが 確実にできるようにする 。これによって、情報のライフサイクルと関連プロセス全体を通じて、情報の追跡が可能となる。また、ビジネスを推進する情報の信頼性と、その情報が定められた目標に従って処理されていることを保証する。 |
| 207 | プロセスの目的 | パフォーマンス と整合性についての透過性を提供し、達成目標の実現を推進する。 | 成果 と整合性についての透過性を提供し、達成目標の実現を推進する。 |
| 208 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 208 | MEA01.01アクティビティ 4. | 達成目標と測定指標(たとえば、整合性、成果、価値 及び リスク)、分類法(分類、および達成目標と測定指標との関係) 及び データ(証拠)の保存に関して合意する。 | 達成目標と測定指標(たとえば、整合性、成果、価値 および リスク)、分類法(分類、および達成目標と測定指標との関係) および データ(証拠)の保存に関して合意する。 |
| 209 | MEA01.03 インプット(6番目) | 可用性、性能、キャパシティのモニタリングのレビュー、報告 | 可用性、性能、キャパシティの報告書 |
| 210 | MEA01.04 アクティビティ 1. | 簡潔で理解し易い、様々な経営層のニーズと対象者に合わせた、プロセスの成果報告をデザインする。効果的かつタイムリーな意思決定(たとえば、スコアカード、信号表示レポート)を促進し、達成目標と測定指標の因果関係を理解可能な方法で 周知する ようにする。 | 簡潔で理解し易い、様々な経営層のニーズと対象者に合わせた、プロセスの成果報告をデザインする。効果的かつタイムリーな意思決定(たとえば、スコアカード、信号表示レポート)を促進し、達成目標と測定指標の因果関係を理解可能な方法で 確実に周知する 。 |
| 210 | MEA01.05 アクティビティ 2. | 是正措置に対し責任者が継続的に割り当てられていることを 確認する 。 | 是正措置に対し責任者が継続的に割り当てられていることを 確実にする 。 |
| 212 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 | (注記なし) | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 212 | RACIチャートのマネジメントの実践手法 | MEA02.05 保証提供者の独立性と資格の 確認 | MEA02.05 保証提供者の独立性と資格の 確保 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|---|---|--|
| 213 | MEA02.02 マネジメントの実践手法 | ビジネスプロセス内のコントロールが有効に機能することを 確認 するため、モニタリングおよびテスト証跡のレビューを含む、コントロールの運用に対するレビューを行う。これには、定期的なテスト、継続的なモニタリング、独立したアセスメントとともに、指揮統制部署、ネットワークオペレーションセンターなどによる、有効な運用証跡を確保するためのアクティビティが含まれる。これにより、ビジネス、規制、社会的責任に関連する要件を満たすコントロールの有効性に関する保証が提供される。 | ビジネスプロセス内のコントロールが有効に機能することを 確実に するため、モニタリングおよびテスト証跡のレビューを含む、コントロールの運用に対するレビューを行う。これには、定期的なテスト、継続的なモニタリング、独立したアセスメントとともに、指揮統制部署、ネットワークオペレーションセンターなどによる、有効な運用証跡を確保するためのアクティビティが含まれる。これにより、ビジネス、規制、社会的責任に関連する要件を満たすコントロールの有効性に関する保証が提供される。 |
| 214 | MEA02.04 アクティビティ 5. | すべての例外事項をフォローアップして、合意された対処がなされていることを 確認 する。 | すべての例外事項をフォローアップして、合意された対処がなされていることを 確実に する。 |
| 214 | MEA02.05 マネジメントの実践手法 | MEA02.05 保証提供者の独立性と資格の 確認 | MEA02.05 保証提供者の独立性と資格の 確保 |
| 214 | MEA02.05 マネジメントの実践手法 | 保証を実施する組織が、対象となっている部門、グループ、組織から独立していることを 確認 する。保証を実施する組織は、適切な姿勢や態度により、保証の実施に必要なスキルや知識面での能力を示し、倫理規程および専門基準の遵守することを示す必要がある。 | 保証を実施する組織が、対象となっている部門、グループ、組織から独立していることを 確実に する。保証を実施する組織は、適切な姿勢や態度により、保証の実施に必要なスキルや知識面での能力を示し、倫理規程および専門基準の遵守することを示す必要がある。 |
| 214 | MEA03 プロセスの目的 | 事業者が、該当するすべての外部要件を遵守していることを 確認 する。 | 事業者が、該当するすべての外部要件を遵守していることを 確実に する。 |
| 217 | プロセス実践手法、インプット/アウトプットおよびアクティビティの前 (注記なし) | | 注：一部のガバナンスとマネジメントの実践手法は多くの実践手法へのインプットとなるアウトプットを生成する。これらのアウトプットの詳細を図表11に示す。プロセス実践手法の網羅性確保のためには、図表11をあわせて参照のこと。 |
| 218 | MEA03.02 マネジメントの実践手法 | …業界標準、優れた 事例 の規範、 ベストプラクティス のガイダンスの導入と適用を検討する。 | …業界標準、優れた 実践手法 の規範、 優れた実践手法 のガイダンスの導入と適用を検討する。 |
| 218 | MEA03.02 アクティビティ 1. | 必要とされるコンプライアンスへの遵守と、事業体リスクへの対応が 有効 となるように、ポリシー、原則、基準、手続き、方法論の有効性を定期的にレビューし、調整を行う。必要に応じて、内外の専門家を利用する。 | 必要とされるコンプライアンスへの遵守と、事業体リスクへの対応が 確実に有効 となるように、ポリシー、原則、基準、手続き、方法論の有効性を定期的にレビューし、調整を行う。必要に応じて、内外の専門家を利用する。 |
| 218 | MEA03.03 アクティビティ 1. | 事業者のすべての機能についてポリシー、基準、手続き、方法論を定期的にレビューして、情報の処理の面で関連する法規制要件への 遵守状況を確認 する。 | 事業者のすべての機能についてポリシー、基準、手続き、方法論を定期的にレビューして、情報の処理の面で関連する法規制要件への 遵守を確実に する。 |
| 218 | MEA03.03 アクティビティ 3. | 定期的にビジネスおよびIT のプロセスとアクティビティを評価して、該当する法律、規制、契約面での要件の遵守状況を 確認 する。 | 定期的にビジネスおよびIT のプロセスとアクティビティを評価して、該当する法律、規制、契約面での要件の遵守状況を 確実に する。 |

COBIT 5 Enabling Processes日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|--------------------|--|---|
| 218 | MEA03.03アクティビティ 4. | …必要に応じて、ポリシー、基準、 手続 、方法論、および関連するプロセスとアクティビティの改善を行う。 | …必要に応じて、ポリシー、基準、 手続 き、方法論、および関連するプロセスとアクティビティの改善を行う。 |
| 222 | 図表14 PO6.4 | ポリシー、標準、および 手続 の展開 | ポリシー、標準、および 手続 きの展開 |
| 222 | 図表14 PO7.6 | 要員の人事認可 手続 | 要員の人事認可 手続 き |
| 223 | 図表14 AI4.2 | ビジネス 部門の管理者への知識の移転 | 事業 部門の管理者への知識の移転 |
| 224 | 図表14 DS4.8 | IT サービスの復旧 及び 再開 | IT サービスの復旧 および 再開 |
| 225 | 図表14 DS13.1 | オペレーション 手続 と指示 | オペレーション 手続 きと指示 |
| 226 | 図表15 PM1.1 | 事業戦略と達成目標の明確さをレビューし、 確認 する。 | 事業戦略と達成目標の明確さをレビューし、 確認 にする。 |
| 227 | 図表15 IM10.1 | BAI 10.14 | BAI 01.14 |
| 230 | 図表17事業体達成目標 11. | サービス提供コストの最適化 | ビジネスプロセスの機能の最適化 |
| 231 | 図表18 COBIT 5のプロセス | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 231 | 図表18 COBIT 5のプロセス | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 231 | 図表18 COBIT 5のプロセス | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 231 | 図表18 COBIT 5のプロセス | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 231 | 図表18 COBIT 5のプロセス | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 232 | 図表18 COBIT 5のプロセス | BAI05 組織の 変更 実現性の管理 | BAI05 組織の 変革 実現性の管理 |

別紙3. COBIT 5 for Assurance日本語版正誤表

COBIT 5 for Assurance日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|----------------------|---|---|
| 36 | 図表15 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 36 | 図表15 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 36 | 図表15 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 36 | 図表15 | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 36 | 図表15 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 36 | 図表15 | BAI05 組織の 変更 実現性の管理 | BAI05 組織の 変革 実現性の管理 |
| 37 | 図表16 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 37 | 図表16 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 37 | 図表16 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 37 | 図表16 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 38 | 図表17 | BAI05 組織 変更の実現条件 の管理 | BAI05 組織の 変革実現性 の管理 |
| 67 | 表中の「A-2.4」最下行 | …3つの目標要素 の のうち、… | …3つの目標要素 の うち、… |
| 68 | 表中の「A-3.2」2行目 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 109 | 図表38 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 109 | 図表38 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 109 | 図表38 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 109 | 図表38 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 111 | 表のタイトル行 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 113 | 表のタイトル行 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 115 | 表のタイトル行 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 117 | 表のタイトル行 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 120 | 表中の「保証固有なアクティビティ」の1. | …解消すべきすべてのカバー範囲のギャップと必要な 変更 を識別する。 | …解消すべきすべてのカバー範囲のギャップと必要な 変革 を識別する。 |
| 149 | 表中の「プロセス」 | ・EDM02 効果提供の 保証 | ・EDM02 効果提供の 確保 |
| 150 | 表中の「プロセス」 | ・EDM02 効果提供の 保証 | ・EDM02 効果提供の 確保 |
| 152 | 表中の「Bプロセス」 | ・EDM02 効果提供の 保証 | ・EDM02 効果提供の 確保 |
| 154 | 表中の「プロセス」 | ・EDM03 リスク最適化の 保証 | ・EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 161 | 表中の「プロセス」 | ・EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | ・EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |

COBIT 5 for Assurance日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------|---|---|
| 163 | 表中の「プロセス」 | ・EDM02 効果提供の 保証 | ・EDM02 効果提供の 確保 |
| 163 | 表中の「プロセス」 | ・EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | ・EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 171 | 表中の「プロセス」 | ・EDM02 効果提供の 保証 | ・EDM02 効果提供の 確保 |
| 171 | 表中の「プロセス」 | ・EDM03 リスク最適化の 保証 | ・EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 172 | 表中の「プロセス」 | ・EDM02 効果提供の 保証 | ・EDM02 効果提供の 確保 |
| 172 | 表中の「プロセス」 | ・EDM03 リスク最適化の 保証 | ・EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 174 | 表中の「プロセス」 | ・EDM02 効果提供の 保証 | ・EDM02 効果提供の 確保 |
| 174 | 表中の「プロセス」 | ・EDM03 リスク最適化の 保証 | ・EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 176 | 表中の「プロセス」 | ・EDM03 リスク最適化の 保証 | ・EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 197 | C1表の最下行 | このプロセスでは、事業体が該当するすべての外部要件を遵守していることを以下によって 保証 する。 | このプロセスでは、事業体が該当するすべての外部要件を遵守していることを以下によって 確保 する。 |
| 219 | 表中の「追加プロセス」 | ・EDM02 効果提供の 保証 | ・EDM02 効果提供の 確保 |
| 219 | 表中の「追加プロセス」 | ・EDM04 資源最適化の 保証 | ・EDM04 資源最適化の 確保 |
| 234 | 表中の「B.3.1.xからB.3.7.x」 | ・EDM02 効果提供の 保証 | ・EDM02 効果提供の 確保 |
| 234 | 表中の「B.3.1.xからB.3.7.x」 | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 251 | 表中の「主要プロセス」 | ・EDM03 リスク最適化の 保証 | ・EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 251 | 表中の「追加プロセス」 | ・EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | ・EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 259 | 表中の「B-3」 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 259 | 表中の「B-3.1a」 | 例: EDM03 リスク最適化の 保証 プロセスは、... | 例: EDM03 リスク最適化の 確保 プロセスは、... |
| 260 | 表中の「B-3.4a」 | 例: EDM03 リスク最適化の 保証 プロセスには、... | 例: EDM03 リスク最適化の 確保 プロセスには、... |
| 261 | 表中の「B-3.5a」 | EDM03 リスク最適化の 保証 プロセスが、... | EDM03 リスク最適化の 確保 プロセスが、... |

COBIT 5 for Assurance日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------|--|--|
| 261 | 表中の「参照プロセス」 | EDM03 リスク最適化の 保証 プロセス | EDM03 リスク最適化の 確保 プロセス |
| 263 | 表中の「B-3.6a」 | EDM03 リスク最適化の 保証 プロセスは、… | EDM03 リスク最適化の 確保 プロセスは、… |
| 263 | 表中の「B-3.7a」 | EDM03 リスク最適化の 保証 プロセスは、… | EDM03 リスク最適化の 確保 プロセスは、… |
| 270 | 表中の「B-3.1.xからB-3.7.x」 | ・EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | ・EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 274 | 表中の「B-5.3」 | …保証専門家は以下 の 保証のステップを実施する。 | …保証専門家は以下 の 保証のステップを実施する。 |
| 274 | 表中の「B-5.3」 | …以下 の アセスメントのステップを実施する。 | …以下 の アセスメントのステップを実施する。 |
| 312 | 表中の「B-5.3」 | …保証専門家は以下 の 保証のステップを実施する。 | …保証専門家は以下 の 保証のステップを実施する。 |
| 314 | 表中の「B-6.3」 | 情報項目 の 品質規準(成果)が達成されているかどうか、すなわち情報項目の有効性のアセスメントを行う。 | 情報項目 の 品質規準(成果)が達成されているかどうか、すなわち情報項目の有効性のアセスメントを行う。 |

別紙4. COBIT 5 for Risk日本語版正誤表

COBIT 5 for Risk日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|----------------------------|---|---|
| 21 | 下から5行目 | …(COBIT 5 プロセスのEDM03 リスク最適化の 保証 およびAPO12リスク管理)… | …(COBIT 5 プロセスのEDM03 リスク最適化の 確保 およびAPO12リスク管理)… |
| 37 | 図表18 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 37 | 図表18 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 37 | 図表18 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 37 | 図表18 | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 37 | 図表18 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 37 | 図表18 | BAI05 組織の 変更 実現性の管理 | BAI05 組織の 変革 実現性の管理 |
| 37 | 図表19 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 37 | 図表19 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 37 | 図表19 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 38 | 図表20 | EDM04 資源最適化の 保証 | EDM04 資源最適化の 確保 |
| 38 | 図表20 | BAI05 組織の 変更 実現性の管理 | BAI05 組織の 変革 実現性の管理 |
| 44 | 2行目 | 事業体は、既存の文化を出発点として必要な 変更 を特定し、 変更 の実施に向けて作業することができる。 | 事業体は、既存の文化を出発点として必要な 変革 を特定し、 変革 の実施に向けて作業することができる。 |
| 62 | 下から12行目 | …、必ずしも 変更 が容易であるとは限らない。 | …、必ずしも 変革 が容易であるとは限らない。 |
| 63 | 図表35 | ・ 変更 管理能力 | ・ 変革 管理能力 |
| 73 | 図表38 参照番号0901 | …(例えば、要求されたビジネスモデルの構築や組織 変更 ができない)… | …(例えば、要求されたビジネスモデルの構築や組織 変革 ができない)… |
| 85 | 7行目 | …リスクに対する自身の立場においてより根本的な 変更 についても決定することがある。 | …リスクに対する自身の立場においてより根本的な 変革 についても決定することがある。 |
| 87 | 図表44 3項目目 | ・プロセス全体(EDM03リ スク最適化の 保証)… | ・プロセス全体(EDM03リ スク最適化の 確保)… |
| 88 | 図表44 3項目目 | ・IT リスクマネジメントに係るアクティビティが常に組織 変更 と同期しているようにするために… | ・IT リスクマネジメントに係るアクティビティが常に組織 変革 と同期しているようにするために… |
| 111 | 図表55 1項目目 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 111 | 図表55 2項目目 | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 111 | 図表55 3項目目 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 113 | 表タイトル | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 保証 | EDM01 ガバナンスフレームワークの設定と維持の 確保 |
| 115 | 表タイトル | EDM02 効果提供の 保証 | EDM02 効果提供の 確保 |
| 117 | 表タイトル | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 保証 | EDM05 ステークホルダーからみた透明性の 確保 |
| 120 | APO02.04「リスクに固有なアクティビティ1.」 | …目標とする環境を実現するために解消すべき全てのギャップと必要な 変更 を特定する。 | …目標とする環境を実現するために解消すべき全てのギャップと必要な 変革 を特定する。 |
| 125 | APO07.01「マネジメントの実践手法」 | …事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源の 確保 を 保証 する。 | …事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源の 確保 を 確保 する。 |

COBIT 5 for Risk日本語版正誤表

| P | 該当箇所 | 現行 | 修正後 |
|-----|-----------------------------|--|---|
| 126 | APO07.03「リスクに固有なアクティビティ 2.」 | リスクマネジメントの専門家としてのスキルセットを 保証 するために、検定制度を利用する。 | リスクマネジメントの専門家としてのスキルセットを 確保 するために、検定制度を利用する。 |
| 129 | 「COBIT 5のプロセスの目的」 | 事業体の品質要件や、ステークホルダーのニーズを満たすソリューションとサービスの一貫した提供を 保証 する。 | 事業体の品質要件や、ステークホルダーのニーズを満たすソリューションとサービスの一貫した提供を 確実に する。 |
| 135 | MEA02.01「リスクに固有なアクティビティ 3.」 | ギャップが存在する場合には、評価を行い、 変更 を提言する。 | ギャップが存在する場合には、評価を行い、 変革 を提言する。 |
| 146 | 図表60 2項目目 | コンプライアンス要件の理解、周知および遵守、ならびに違反領域の 是正の保証 | コンプライアンス要件の理解、周知および遵守、ならびに違反領域の 是正の確保 |
| 183 | 図表75 6項目 | …ビジネスプロセスオーナーと共に、RCAM における情報が現在もなお最新であることを 保証 し、… | …ビジネスプロセスオーナーと共に、RCAM における情報が現在もなお最新であることを 確実に し、… |
| 195 | 図表85 1項目 | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 195 | 図表85 1項目 | …IT の利用における事業体の価値に関連するリスクの特定と管理を 保証 する。 | …IT の利用における事業体の価値に関連するリスクを 確実に 特定し、管理する。 |
| 197 | 表タイトル | EDM03 リスク最適化の 保証 | EDM03 リスク最適化の 確保 |
| 197 | EDM03.1「リスクに固有なアクティビティ 1.8」 | IT 戦略、 変更 の取り組みおよび外部要件が… | IT 戦略、 変革 の取り組みおよび外部要件が… |
| 212 | プロセスのイネーブラー 4項目 | …事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源の 確保を保証 する。 | …事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源を 確保 する。 |
| 213 | プロセスのイネーブラー 5項目 | これにより、事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源の 確保を保証 する。 | これにより、事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源を 確保 する。 |
| 217 | プロセスのイネーブラー 最終項目 | 情報イベントのトレーサビリティと説明責任の 保証 | 情報イベントのトレーサビリティと説明責任の 確保 |
| 235 | プロセスのイネーブラー 2項目 | これにより、事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源の 確保を保証 する。 | これにより、事業体の達成目標と目的を支援するために十分な人的資源を 確保 する。 |